7. 水源地域動態

「7. 水源地域動態」の目次

7.　水源地域動態 ····· 7-1
7.1 評価の進め方 ····· 7-1
7.1.1 評価方針 ····· 7-1
7.1.2 評価手順 ····· 7-1
7.2 水源地域の概況 ····· 7-3
7.2.1 水源地域の概要 ····· 7-3
7.2.2 ダムの立地特性 ····· 7-11
7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷 ····· 7-17
7.4 ダムと地域の関わり ····· 7-18
7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理 ····· 7-18
7.4.2 室生ダム水源地域ビジョン ····· 7-20
7.4.3 水質に関する情報共有 ····· 7-26
7.4.4 ダム湖周辺施設の維持管理 ····· 7-27
7.4.5 地域とダム管理者との関わりの評価 ····· 7-27
7.5 ダムの周辺状況 ····· 7-28
7.5.1 ダム周辺観光施設等の状況 ····· 7-28
7.5.2 ダム周辺のイベント等の開催状況 ····· 7-29
7.5.3 ダム周辺利用の評価 ····· 7-35
7.6 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査編)の結果 ····· 7-36
7.6.1 ダム湖利用実態の調査 ····· 7-36
7.6.2 室生ダム利用者の特性 ····· 7-38
7.6.3 ダム湖利用の評価 ····· 7-41
7.7 まとめ ····· 7-42
7.8 必要資料(参考資料)の収集・整理 ····· 7-43

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく 2 つの流れにより行う。

1 つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきかなどの評価を行う。

もう 1 つの流れとして、ダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設などが十分に利用されているものとなっているか、または逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているかなどの評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針に従い、大きく 2 つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。

検討作業のフローは図 7.1.2-1 に示すとおりである。

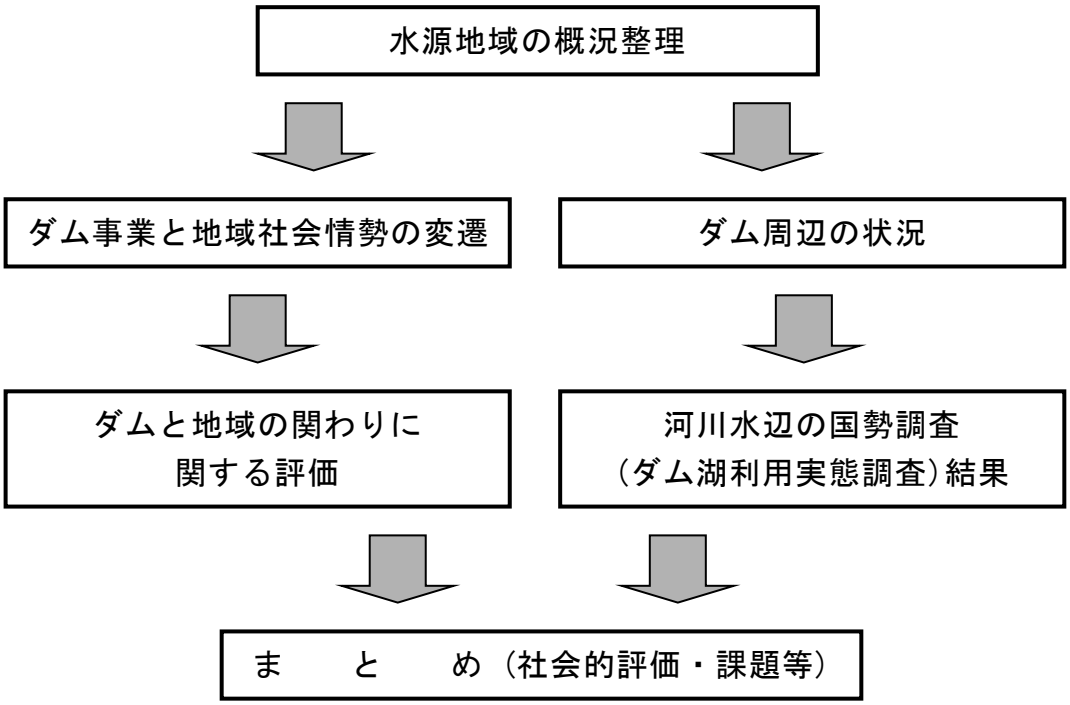


図 7.1.2-1　検討手順

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会情勢の変遷

周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムと関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わり

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに水源地域ビジョン等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。

さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近 5 ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダム周辺施設の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

また、施設入場者数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等について整理する。

また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダム及びダム周辺の利用状況に関する評価結果をまとめ、ダム及びダム周辺の特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、改善策等の提案についてとりまとめる。

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 地域の概要

室生ダムが位置する宇陀川は、三重県・奈良県を流域とする淀川水系木津川支川名張川の左支川である。

宇陀川流域は、「国宝宇太水分神社」、「女人高野の室生寺」をはじめとする名所・旧跡・文化財などの歴史的・景観的資源や自然資源に恵まれている。

室生ダム貯水池の周辺には、室生赤目青山国定公園や東海自然歩道があり、風光明媚な地域であり、行楽・観光に訪れる人々も多い。さらに、記紀(古事記・日本書紀)にも地名が登場するなど、古い歴史を刻んでおり、特に、旧榛原町及び旧大宇陀町は、大和と伊勢を結ぶ東西交通の要衝の地であったことから、伊勢参詣の宿場町として栄えてきた。

上流域沿川は古くから農地開発が進み、近年では大阪都市圏のベッドタウンとしての宅地開発も進んでいる。

(2) 室生ダム流域関連の自治体

室生ダム流域は、奈良県宇陀郡の旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村の3町1村からなっていたが、この3町1村が平成18年1月1日に合併、「宇陀市」となった。これに伴い、現在の室生ダムの水源地域は「宇陀市」1市となっている。

室生ダム流域関連自治体の面積及び室生ダム流域の面積を表 7.2.1-1 及び図 7.2.1-1 に示す。

表 7.2.1-1　室生ダム流域関連自治体の面積及び室生ダム流域面積

市町村名	面積 (km^2)	室生ダム流域面積 (km^2)		直接流域の面積割合(%)
		直接流域	間接流域	
旧大宇陀町	47.45	38.21	―	22.6
旧菟田野町	27.77	27.77	―	16.4
旧榛原町	64.41	61.57	―	36.4
旧室生村	107.99	8.45	―	5.0
旧室生村(間接)		―	33.00	19.5
3町1村合計(現宇陀市)	247.62	169.00		―

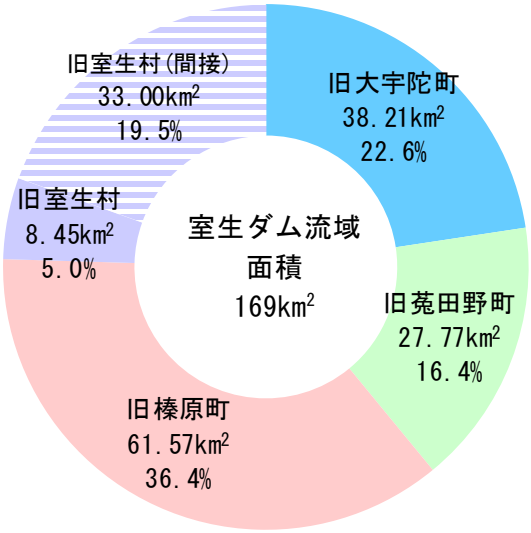


図 7.2.1-1　室生ダム流域関連自治体の面積と割合

(3) 流域内の人口動態

① 流域自治体の人口と世帯数の推移

室生ダム流域内市町村の人口と世帯数の推移を表 7.2.1-2 及び図 7.2.1-2 に示す。

流域市町村の人口は、昭和 35 年から昭和 50 年にかけて減少していたが、昭和 55 年以降、平成 7 年までは増加している。平成 7 年をピークにその後は減少に転じており、令和 2 年時点で約 28,000 人となっている。

平成 7 年までの人口増加の要因は、主に旧榛原町内における宅地開発によるものであり、旧榛原町以外の町村は、昭和 35 年以降人口が減少し続けている。

世帯数でみると、平成 12 年まで増加していたが、その後は減少に転じている。

表 7.2.1-2　室生ダム流域市町村の人口と世帯数の推移(S35～R2)

室生ダム流域関係市町村の人口　　(単位：人)

市町名	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
宇陀市人口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34,227	31,105	28,121
旧室生村人口	9,721	8,426	7,739	7,560	7,404	7,138	6,870	6,808	6,307	5,787	5,125	4,488	3,932
旧榛原町人口	12,934	12,707	12,950	12,846	17,209	18,511	19,359	20,231	19,438	18,548	17,491	16,228	15,090
旧菟田野町人口	7,330	6,392	6,344	6,033	5,849	5,684	5,476	5,284	4,915	4,624	4,250	3,773	3,276
旧大宇陀町人口	11,584	11,221	10,930	10,828	10,637	10,541	10,033	9,713	9,104	8,224	7,361	6,616	5,823
計	41,569	38,746	37,963	37,267	41,099	41,874	41,738	42,036	39,764	37,183	34,227	31,105	28,121

【出典:国勢調査】

室生ダム流域関係市町村の世帯数　　(単位：世帯)

市町名	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
宇陀市世帯数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,527	11,155	10,852
旧室生村世帯数	1,886	1,856	1,839	1,896	1,863	1,834	1,805	1,907	1,909	1,861	1,756	1,645	1,559
旧榛原町世帯数	2,666	2,835	3,027	3,022	4,327	4,706	5,083	5,669	5,784	5,875	5,942	5,855	5,836
旧菟田野町世帯数	1,445	1,451	1,482	1,494	1,465	1,426	1,432	1,418	1,395	1,392	1,368	1,312	1,235
旧大宇陀町世帯数	2,461	2,459	2,520	2,640	2,591	2,602	2,556	2,566	2,601	2,548	2,461	2,343	2,222
総世帯数(3町1村計)	8,458	8,601	8,868	9,052	10,246	10,568	10,876	11,560	11,689	11,676	11,527	11,155	10,852

【出典:国勢調査】

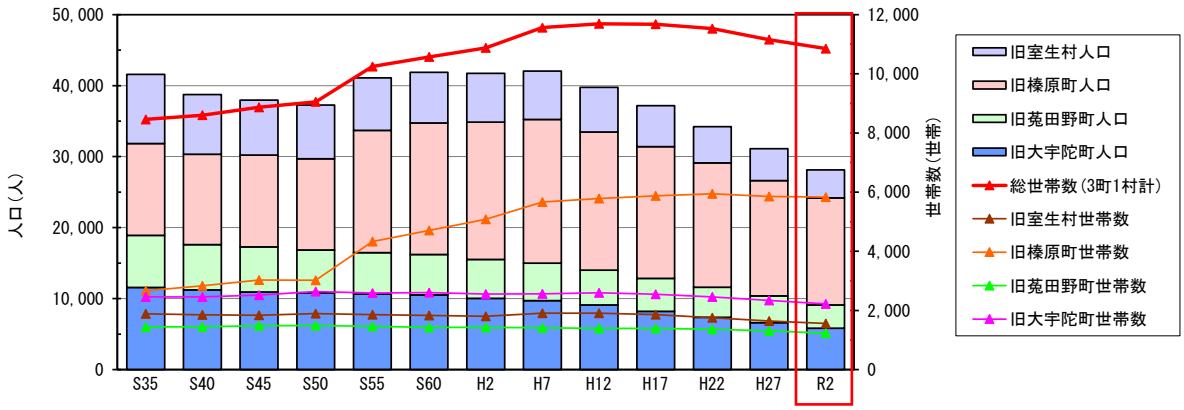


図 7.2.1-2　室生ダム流域市町村の人口と世帯数の推移(S35～R2)

(4) 産業別就業者数

室生ダム流域市町村における産業別就業者数の割合と就業者数の推移を表 7.2.1-3、図 7.2.1-3 に示す。

就業者数は昭和 40 年以降、平成 12 年までは 19,000 人程度で横ばいであったが、平成 12 年以降は減少している。

産業別でみると、第一次産業及び第二次産業の就業者数が減少したことにより、第三次産業の割合が増加しており、令和 2 年では約 70%を占めている。

表 7.2.1-3　室生ダム流域関連自治体の就業者数推移(S40～R2)

市町村名	年	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
宇陀市※	第一次産業	7,935	7,018	4,839	3,793	3,230	2,382	2,137	1,776	1,732	1,086	1,204	917
	第二次産業	4,246	5,348	5,230	5,685	5,803	5,969	5,854	5,271	4,248	3,376	3,057	2,679
	第三次産業	6,575	7,409	7,945	9,821	10,226	10,746	11,697	11,231	11,038	9,923	9,230	8,504
	計	18,756	19,775	18,014	19,299	19,259	19,097	19,688	18,278	17,018	14,385	13,491	12,100
旧大宇陀町	第一次産業	2,292	1,970	1,478	1,149	928	699	623	526	540	－	－	－
	第二次産業	1,198	1,599	1,448	1,542	1,551	1,604	1,553	1,395	1,070	－	－	－
	第三次産業	1,798	1,998	2,213	2,377	2,351	2,445	2,408	2,272	2,243	－	－	－
	計	5,288	5,567	5,139	5,068	4,830	4,748	4,584	4,193	3,853	－	－	－
旧菟田野町	第一次産業	1,183	1,019	671	510	447	343	301	233	232	－	－	－
	第二次産業	815	1,120	1,054	1,067	1,046	1,053	925	815	611	－	－	－
	第三次産業	969	1,134	1,287	1,330	1,274	1,258	1,205	1,205	1,259	－	－	－
	計	2,967	3,273	3,012	2,907	2,767	2,654	2,431	2,253	2,102	－	－	－
旧榛原町	第一次産業	2,275	2,062	1,300	1,177	1,046	773	681	671	591	－	－	－
	第二次産業	1,468	1,727	1,733	2,173	2,279	2,433	2,500	2,247	1,865	－	－	－
	第三次産業	2,458	2,843	2,835	4,256	4,782	5,269	6,195	6,056	5,985	－	－	－
	計	6,201	6,632	5,868	7,606	8,107	8,475	9,376	8,974	8,441	－	－	－
旧室生村	第一次産業	2,185	1,967	1,390	957	809	567	532	346	369	－	－	－
	第二次産業	765	902	995	903	927	879	876	814	702	－	－	－
	第三次産業	1,350	1,434	1,610	1,858	1,819	1,774	1,889	1,698	1,551	－	－	－
	計	4,300	4,303	3,995	3,718	3,555	3,220	3,297	2,858	2,622	－	－	－

※1 宇陀市の昭和40年から平成17年は、旧3町1村の合計
※2 分類不能は除外している

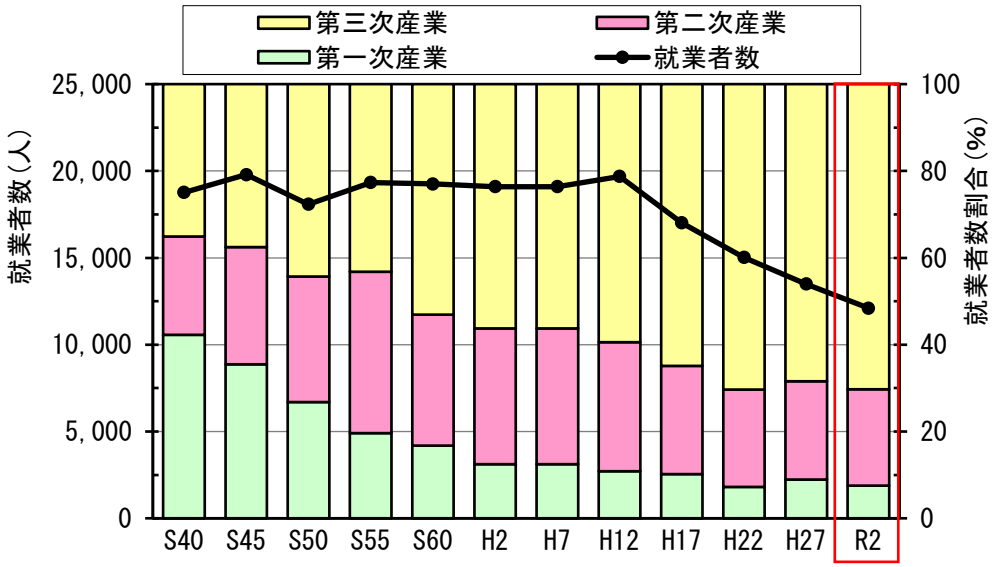
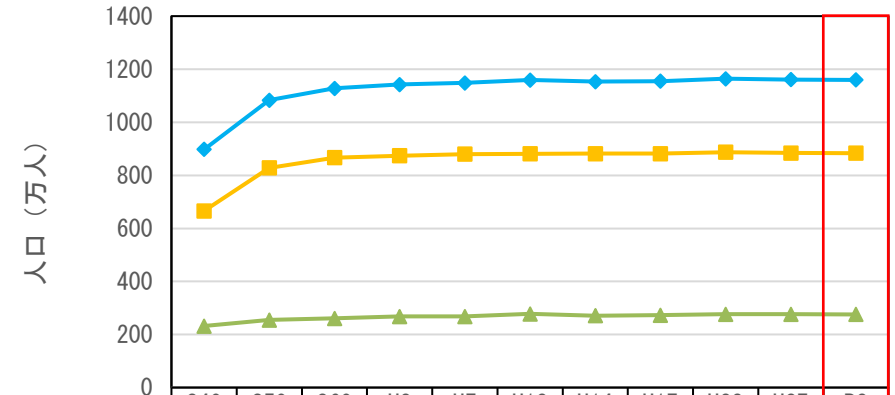


図 7.2.1-3　室生ダム流域関連自治体の就業者数の推移(S40～R2)

(5) 淀川下流域の人口の推移

淀川下流域の人口は、図 7.2.1-4 に示すとおり、昭和 40 年から昭和 50 年までの 10 年間で約 185 万人増加し、平成 2 年以降はほぼ横ばいの状態となっている。令和 2 年時点の人口は約 1,160 万人となっており、昭和 40 年と比較して約 29%増加している。

淀川下流域 (阪神地区)	大阪府	
	兵庫県	神戸市、尼崎市、伊丹市 西宮市、芦屋市



	S40	S50	S60	H2	H7	H12	H14	H17	H22	H27	R2	増減率
阪神地区	898	1083	1128	1142	1148	1159	1153	1155	1164	1161	1160	29.2%
大阪府	666	828	867	874	880	881	882	882	887	884	884	32.7%
他5市	232	255	261	268	268	278	271	273	277	277	276	19.1%

※増減率は、昭和 40 年に対する令和 2 年の変動率を示す

図 7.2.1-4　淀川下流域の人口の推移

【出典：国勢調査】

(6) 土地利用

流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況の経年変化を表 7.2.1-4、図 7.2.1-5 に示す。令和 4 年時点で、流域市町村面積の約 72%が山林、田畑約 19%、宅地約 4%となっている。

表 7.2.1-4　流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況の経年変化

(単位：ha)

年度	市町村別	合計	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地			
										ゴルフ場	鉄軌道用地	その他
S40	3市1村計	11,636.1	2,152.5	948.1	234.8	-	8,119.8	139.0	41.9	-	28.5	13.4
	大宇陀町	2,576.4	675.0	324.8	73.7	-	1,477.8	23.5	1.6	-	-	1.6
	菟田野町	1,591.6	309.2	156.1	34.5	-	1,062.7	17.3	11.8	-	-	11.8
	榛原町	3,347.2	694.5	252.1	75.1	-	2,266.2	47.8	11.5	-	11.5	-
	室生村	4,120.9	473.8	215.1	51.5	-	3,313.1	50.4	17.0	-	17.0	-
S45	3市1村計	12,987.8	2,219.0	1,011.6	278.9	1.1	9,272.0	159.0	46.2	-	30.1	16.1
	大宇陀町	2,806.0	686.3	341.8	82.8	-	1,666.7	26.5	1.9	-	-	1.9
	菟田野町	1,750.0	311.7	161.9	44.1	1.1	1,198.7	18.7	13.8	-	-	13.8
	榛原町	3,851.7	717.3	279.0	91.4	-	2,690.2	60.3	13.5	-	13.1	0.4
	室生村	4,580.1	503.7	228.9	60.6	-	3,716.4	53.5	17.0	-	17.0	-
S50	3市1村計	12,246.1	1,929.0	848.3	318.9	43.9	8,796.9	135.6	173.7	93.3	30.7	49.6
	大宇陀町	2,593.7	631.5	298.1	86.0	-	1,551.6	24.3	2.3	-	-	2.3
	菟田野町	1,573.6	247.6	126.1	45.4	-	1,129.0	21.2	4.4	-	-	4.4
	榛原町	3,510.5	565.7	221.3	126.4	43.9	2,448.7	47.6	56.9	-	14.0	42.9
	室生村	4,568.3	484.2	202.8	61.1	-	3,667.6	42.5	110.1	93.3	16.7	-
S55	3市1村計	13,451.7	2,085.8	933.7	396.2	47.0	9,598.1	139.3	251.8	168.1	32.0	51.7
	大宇陀町	2,798.8	653.6	309.8	99.5	1.3	1,679.6	26.2	28.9	17.3	-	11.6
	菟田野町	1,801.8	293.7	149.9	58.9	1.1	1,270.5	17.4	10.3	-	-	10.3
	榛原町	3,753.8	630.3	252.8	165.3	44.6	2,552.5	54.2	54.1	10.5	15.3	28.3
	室生村	5,097.3	508.2	221.2	72.5	-	4,095.5	41.5	158.5	140.3	16.7	1.5
S60	3市1村計	13,398.2	2,027.1	899.9	409.2	47.1	9,593.7	148.6	272.6	165.5	32.0	75.1
	大宇陀町	2,808.4	649.4	308.8	103.4	1.6	1,687.3	24.8	33.1	17.8	-	15.3
	菟田野町	1,784.9	286.2	146.6	60.6	-	1,265.7	16.1	9.6	-	-	9.6
	榛原町	3,710.1	595.2	228.3	170.4	45.2	2,559.8	50.6	60.8	10.5	15.3	35.0
	室生村	5,094.8	496.3	216.2	74.8	0.3	4,080.9	57.1	169.1	137.2	16.7	15.2
H2	3市1村計	13,332.4	1,965.2	902.0	438.7	47.8	9,564.1	154.5	260.1	166.0	32.0	62.0
	大宇陀町	2,803.2	640.6	304.6	109.0	1.6	1,685.9	26.9	34.6	17.8	-	16.8
	菟田野町	1,750.6	268.7	154.0	63.5	-	1,236.8	17.7	9.9	-	-	9.9
	榛原町	3,700.9	574.7	232.1	188.7	45.9	2,554.5	52.5	52.5	11.0	15.2	26.2
	室生村	5,077.7	481.2	211.3	77.5	0.3	4,086.9	57.4	163.1	137.2	16.8	9.1
H7	3市1村計	13,245.3	1,906.2	893.1	465.5	48.9	9,488.9	163.8	278.9	166.0	30.5	82.4
	大宇陀町	2,822.7	629.9	316.5	114.6	1.6	1,690.4	32.5	37.2	18.1	-	19.1
	菟田野町	1,754.1	262.6	153.2	66.3	-	1,240.4	20.1	11.5	-	-	11.5
	榛原町	3,627.9	549.3	216.2	199.5	47.1	2,500.4	53.2	62.2	11.0	14.6	36.6
	室生村	5,040.6	464.4	207.2	85.1	0.2	4,057.7	58.0	168.0	136.9	15.9	15.2
H12	3市1村計	13,216.8	1,828.3	913.6	481.3	49.0	9,409.4	187.3	348.2	213.2	30.4	104.4
	大宇陀町	2,818.3	601.6	322.7	116.8	1.5	1,644.2	40.6	91.1	63.9	-	27.1
	菟田野町	1,722.3	247.9	155.2	68.5	-	1,210.3	25.8	14.7	-	-	14.7
	榛原町	3,634.3	522.1	227.7	207.8	47.3	2,497.6	59.3	72.6	12.0	14.5	46.1
	室生村	5,041.9	456.7	208.0	88.2	0.2	4,057.3	61.6	169.8	137.3	15.9	16.5
H17	3市1村計	13,170.3	1,769.6	921.6	494.8	49.0	9,371.8	208.4	355.1	210.8	29.9	114.4
	大宇陀町	2,817.8	590.8	325.4	118.2	1.5	1,645.0	46.5	90.5	61.3	-	29.2
	菟田野町	1,701.6	236.8	151.9	68.9	-	1,201.3	27.2	15.5	-	-	15.5
	榛原町	3,656.9	503.4	232.3	218.3	47.3	2,510.2	68.3	77.1	12.2	14.2	50.7
	室生村	4,994.0	438.6	212.0	89.4	0.2	4,015.3	66.4	172.0	137.3	15.7	19.0
H20	宇陀市	13,191.5	1,758.4	912.7	500.1	49.0	9,392.2	218.9	360.2	210.7	29.8	119.6
H21	宇陀市	13,189.2	1,755.3	911.3	501.4	49.2	9,388.3	219.5	364.3	210.7	29.8	123.7
H22	宇陀市	13,207.4	1,747.1	908.0	503.8	49.1	9,409.4	221.1	367.9	210.7	29.8	127.4
H23	宇陀市	13,221.5	1,744.6	906.7	506.5	49.1	9,418.9	224.9	370.8	210.7	29.7	130.3
H24	宇陀市	13,229.5	1,742.3	904.6	508.9	49.0	9,416.6	227.5	380.6	210.7	29.8	140.1
H25	宇陀市	13,231.8	1,739.2	903.6	509.2	49.0	9,418.3	228.9	383.5	210.7	29.5	143.3
H26	宇陀市	13,228.1	1,732.5	902.7	510.3	49.0	9,418.1	228.4	385.5	210.7	29.5	145.3
H27	宇陀市	13,232.8	1,720.1	897.1	511.0	48.7	9,431.7	232.9	389.8	210.7	29.3	149.8
H28	宇陀市	13,245.9	1,714.7	893.2	511.3	48.7	9,444.3	235.6	398.1	210.7	29.3	158.1
H29	宇陀市	13,255.9	1,712.2	892.5	512.1	48.7	9,449.3	236.9	404.2	210.7	29.3	164.2
H30	宇陀市	13,279.4	1,707.8	889.8	513.7	48.6	9,467.3	238.9	413.3	210.7	29.3	173.3
R1	宇陀市	13,317.5	1,702.7	886.7	514.9	48.5	9,508.4	239.3	417.0	210.7	29.3	177.0
R2	宇陀市	13,330.7	1,701.3	886.2	516.2	48.5	9,518.5	240.1	419.9	210.7	29.3	179.9
R3	宇陀市	13,347.8	1,673.0	868.8	517.7	48.4	9,559.7	256.2	423.9	209.4	29.2	185.3
R4	宇陀市	13,372.1	1,651.8	851.9	519.1	48.4	9,603.8	270.9	426.1	209.4	29.2	187.5

【出典：奈良県統計年鑑】

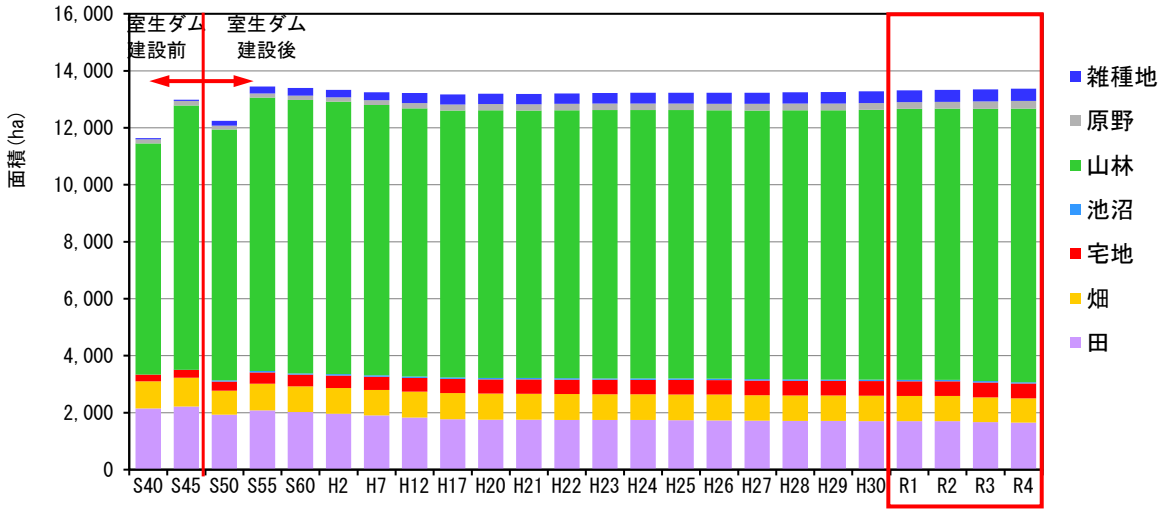
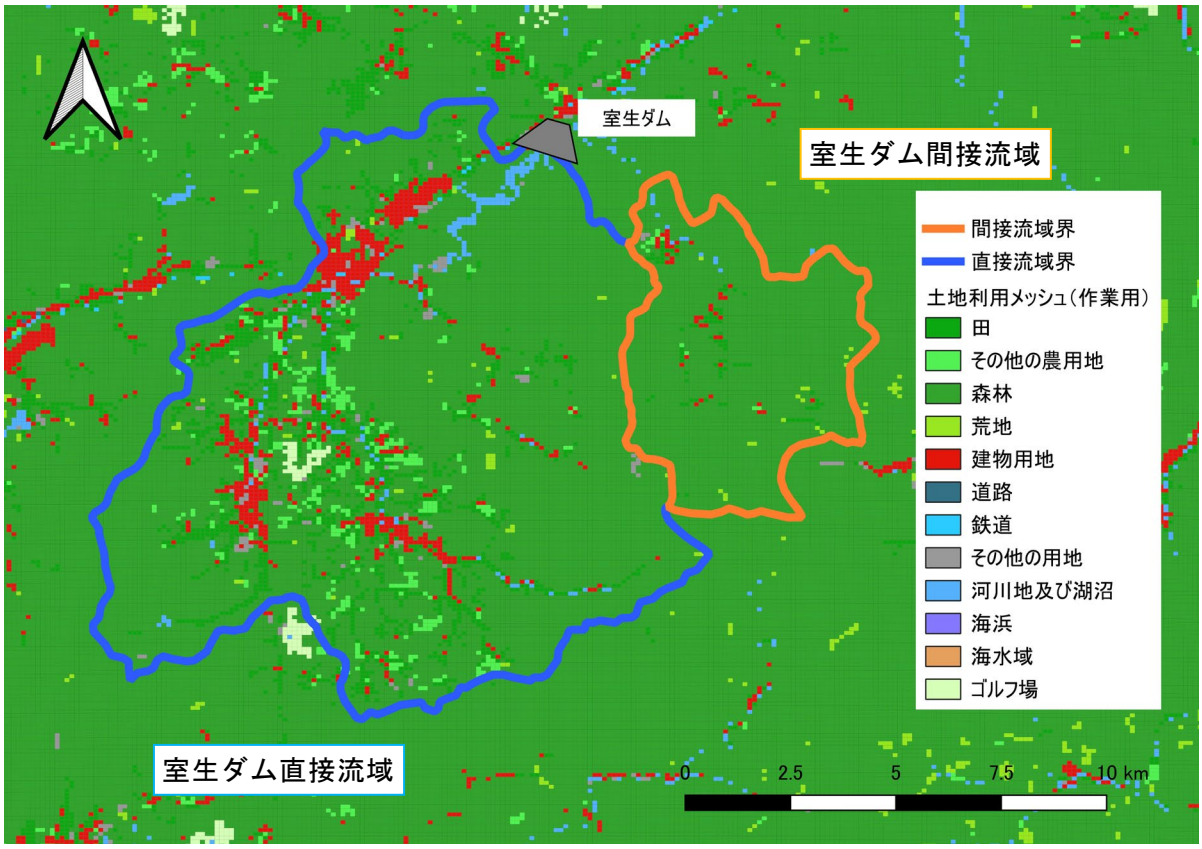


図 7.2.1-5　流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況の経年変化

次に、室生ダム周辺の土地利用の分布を図 7.2.1-6 に示す。

室生ダム流域内(間接流域を含む)の土地の利用割合は、森林 80.2%、田 9.4%、建物用地 4.9%、河川及び湖沼 1.2%である。



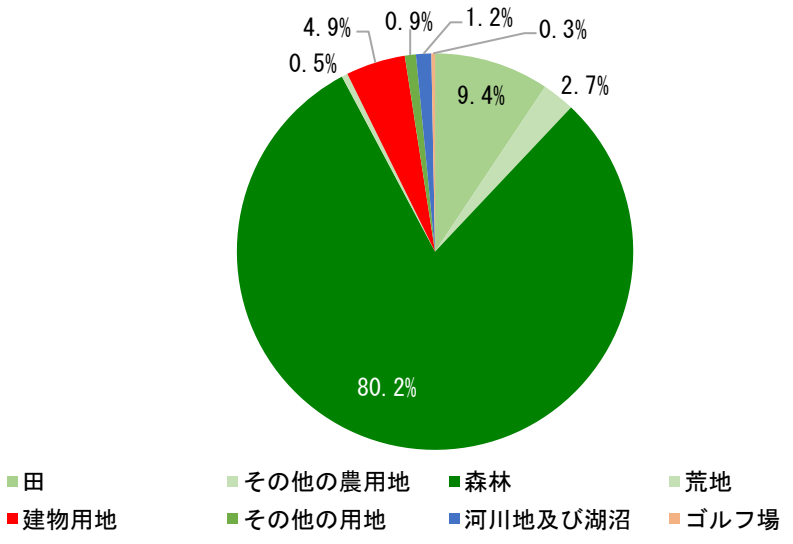


図 7.2.1-6　室生ダム周辺の土地利用

【出典：「土地利用細分メッシュデータ」国土数値情報 令和3年　】

7.2.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

室生ダムは、すぐ近くを国道 165 号、近鉄大阪線が通り、大阪や奈良等の都市圏からのアクセスが非常に良いという特徴を持つ。さらに、名阪国道小倉 IC から国道 165 号を経て室生寺周辺までつないでいる奥宇陀広域農道(愛称；やまなみロード)によりアクセスが良くなった。

自動車では大阪都心部から約 70 分(西名阪自動車道を利用)、電車では約 1 時間(近鉄大阪線(急行)を利用して室生口大野駅)でアクセスできる。

また、室生ダムは室生口大野駅から約 1.7km と近く、利用しやすい立地環境にある。

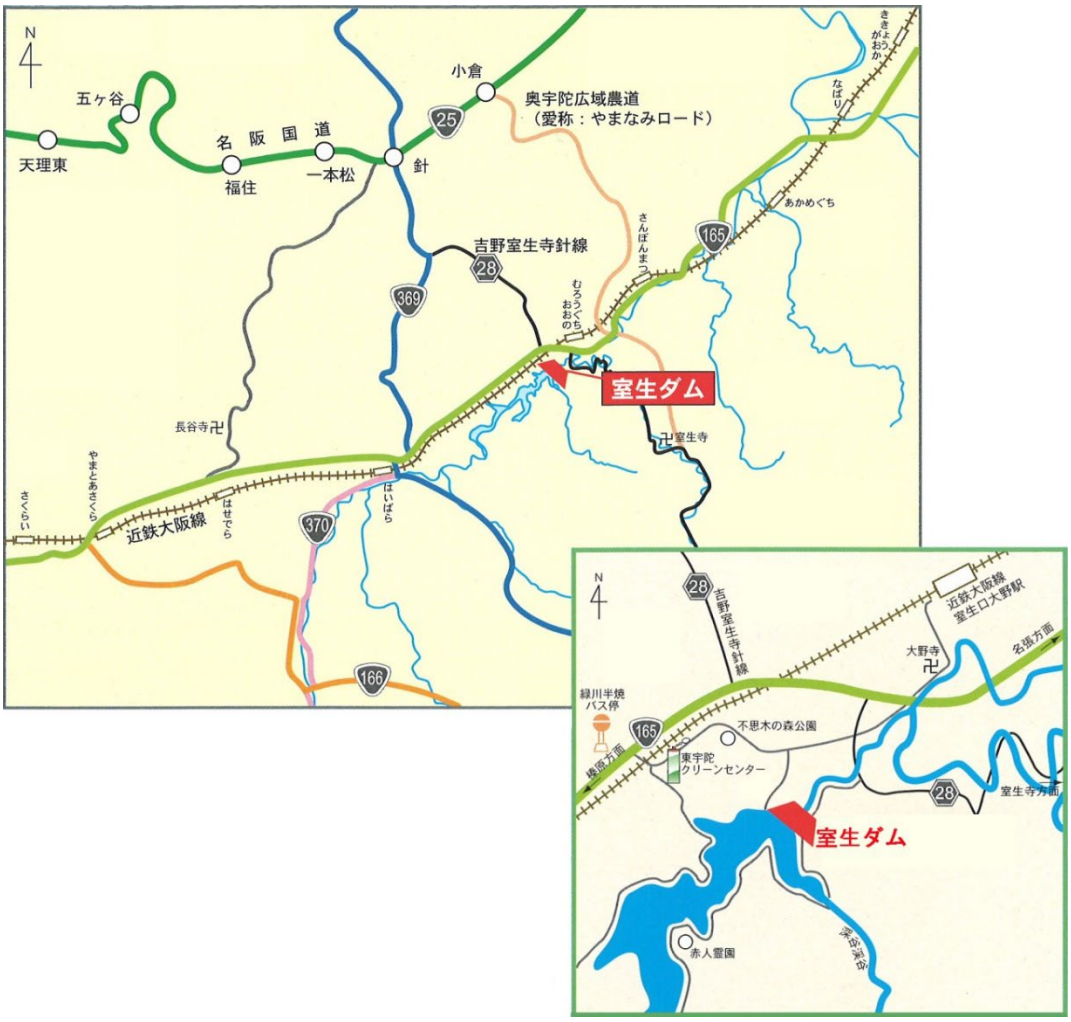


図 7.2.2-1　室生ダム周辺の交通アクセス

(2) ダム周辺の観光施設等

室生ダム周辺の観光施設等を表 7.2.2-1、図 7.2.2-2、図 7.2.2-3 に示す。

代表的な観光資源としては、室生寺、大野寺磨崖仏、滝谷花しょうぶ園などがある。

表 7.2.2-1(1)　室生ダム周辺の観光施設等

施設名称	概要	所在地
室生寺	奈良時代末に創建。創始期の姿が見られる唯一の山地寺院として、天平の息吹を伝える堂宇が散在し、国宝の釈迦如来立像・十一面観音像・釈迦如来坐像をはじめ、仏像や寺宝はどれも超一級の文化財である。 国宝五重塔は、弘法大師が一夜にして建立したと伝承される。石楠花に代表される花の寺としても知られている。 女人禁制の高野山に対し、女性の参詣を認めたため「女人高野」と呼ばれている。	宇陀市 室生
大野寺　磨崖仏（まがいぶつ）	本堂の弥勒菩薩立像の脇に立つ重要文化財の木造地蔵菩薩立像は「身代わり地蔵」と呼ばれる。対岸の岸壁に刻まれている総高 13.8m 日本最大級の弥勒磨崖仏は、鎌倉時代に後鳥羽上皇の勅願で造立されたもので、史実がはっきりしており、史跡に指定されている。	宇陀市 室生
宇太水分（みくまり）神社	緑濃い木立の中に速秋津比古神（はやあきつひこのかみ）、天水分神（あめのみくまりのかみ）、国水分神（くにのみくまりのかみ）の水分三座が祀られている。本殿(三社造)は国宝。社伝では崇神天皇の時代にはじまるといわれ、縁起では、大和国宇陀郡の水分大明神は天照大神の分神で、垂仁天皇の時代に神託によって社殿をかまえたと伝えている。	宇陀市 菟田野
滝谷 花しょうぶ園	約 1 万坪の園内には、600 種 100 万本の花しょうぶが植えられ、6 月に入ると紫や青、白、ピンクの花が園内を彩る。	宇陀市 室生
平成榛原子供のもり公園	恐竜の遊具等やキャンプ場、バーベキュー場も併設されているレジャー施設。 森の館内にはダムの役割や水の性質を学べる「アクアランド」や、森に住む生物について学べる「ウッディランド」もある。	宇陀市 榛原
不思木の森 公園	室生ダムに隣接している公園。 森の回廊、森の基地といった木製遊具をはじめ、山の斜面をらせん状に下りる大型のローラースライダー、森の空中回廊アスレチック、さらには山頂の展望台、健康遊具がある。	宇陀市 室生
龍鎮・ 深谷渓谷	室生ダム右岸の支川深谷川沿いの渓谷。龍鎮の滝がある。 途中の室生集落内には樹齢 300 年のしだれ桜を有する西光寺や、地滑りを立体映像で疑似体験できる「地滑り資料館 あさぎりホール」がある。	宇陀市 榛原 室生

表 7.2.2-1(2)　室生ダム周辺の観光施設等

施設名称	概要	所在地
墨坂神社	社記によると神武天皇御東征当時、墨坂の地にすでに祀られていた神々で天御中主神・高皇産霊神・神皇産霊神・伊邪那技神・伊邪那美神・大物主神の六柱神の総称が墨坂大神である。	宇陀市榛原
平井大師山石仏群	菟田野の北東、平井の大師山に残る四国八十八カ所を模した霊場。幕末の石工、丹波の佐吉照信が弟子たちと共に刻んだもので、約 100 体の石仏が大師山をとりまいている。	宇陀市菟田野
道の駅宇多路大宇陀	宇陀市大宇陀拾生の国道 166 号と国道 370 号交差点にある道の駅。	宇陀市大宇陀
惣社 水分神社	正式な呼称は、芳野坐式内総社宇陀水分神社。大和朝廷時代の飛鳥を中心に、宇陀地方一帯の水の守り神として芳野川の上流、上芳野にこの一郷の水分神社の総社として創祀された。本殿は、大正二年、隣接する八幡宮を合祀したもの。	宇陀市菟田野
日張山青蓮寺	右大臣藤原豊成公の息女中将姫は継母のざん言により 14 才のとき日張山に配流されたが、のちに父豊成公と中将姫が再会をはたした尼寺。逢いたい人と夢かなう寺として有名。	宇陀市菟田野
本郷の瀧桜(又兵衛桜)	戦国武将後藤又兵衛がこの地へ落ちのび、僧侶となり一生を終えたという伝説があり、後藤家の屋敷跡にあることから別名「又兵衛桜」と呼ばれている。一説には樹齢 300 年ともいわれ、幹周約 3m、高さ約 13m の見事な枝だれ桜。	宇陀市大宇陀
阿騎野・人麻呂公園	柿本人麻呂が「かぎろひ」の歌を詠んだとされている地にある公園で、万葉植物・四阿・柿本人麻呂像があり、掘立柱建物・竪穴式住居が復元されている。	宇陀市大宇陀

図 7.2.2-2　室生ダム周辺の観光施設

【出典：木津川ダム総合管理所HP「ダム周辺案内」 】

ダムサイト左岸四阿

榛原平成子供のもり公園

室生不思木の森公園

濡れ地蔵

墨坂神社

室生寺

道の駅 宇陀路室生

道の駅宇陀路大宇陀

室生農林トレーニングセンター

図 7.2.2-3　主な観光施設等

(3) 文化財等

室生ダム流域市町村の宇陀市には、表 7.2.2-2 に示す文化財がある。

表 7.2.2-2(1)　室生ダム周辺の文化財

指定	種別	名称
国	建造物	大蔵寺本堂
	建造物	大蔵寺大師堂
	彫刻	木造薬師如来立像(大蔵寺)
	彫刻	木造天部形立像(大蔵寺)
	建造物	片岡家住宅【主屋(居室部・客室部)、表門】
	建造物	十三重塔【石造十三重塔】
	彫刻	木造薬師如来坐像(覚恩寺)
	造物	笹岡家住宅【主屋、表門】
	史跡	森野旧薬園
	史跡	松山西口関門
	史跡	宇陀松山城跡
	天然記念物	カザグルマ自生地
	重要伝統的建造物群保存地区	宇陀市松山伝統的建造物群保存地区
	建造物	宇太水分神社本殿
	建造物	宇太水分神社末社春日神社本殿
	建造物	宇太水分神社末社宗像神社本殿
	工芸	黒漆金銅装神輿(惣社水分神社)
	工芸	黒漆瓶子(惣社水分神社)
	天然記念物	八ツ房スギ
	史跡	見田・大沢古墳群
	建造物	佛隆寺　石室
	絵画	絹本著色仏涅槃図(宗祐寺)
	彫刻	木造多聞天立像(宗祐寺)
	工芸	銅鐘(戒長寺)
	彫刻	銅造誕生釈迦仏立像(悟真寺)
	彫刻	木造薬師如来立像(西方寺)
	史跡	文祢麻呂墓
	建造物	室生寺五重塔
	建造物	室生寺金堂
	建造物	室生寺本堂(灌頂堂)
	建造物	室生寺御影堂
	建造物	室生寺納経塔(石造二重塔)
	建造物	室生寺五輪塔(石造五輪塔、小五輪塔 2 基、基壇付)
	建造物	室生寺弥勒堂
	絵画	板絵著色伝帝釈天曼荼羅図(金堂来迎壁)(室生寺)
	彫刻	木造如意輪観音坐像(室生寺)
	彫刻	木造弥勒菩薩立像(室生寺)
	彫刻	木造釈迦如来立像(室生寺)
	彫刻	木造十一面観音立像(室生寺)
	彫刻	木造薬師如来立像(伝空海作)(室生寺)
	彫刻	木造文殊菩薩立像(伝空海作)(室生寺)
	彫刻	木造釈迦如来坐像(室生寺)
	彫刻	木造地蔵菩薩立像(室生寺)
	彫刻	木造十二神将立像(室生寺)
	工芸	両部大壇具(室生寺)
	工芸	大神宮御正体(室生寺)
	天然記念物	室生山暖地性シダ群落
	彫刻	木造地蔵菩薩立像(大野寺)
	彫刻	木造地蔵菩薩立像(春覚寺)
	彫刻	木造地蔵菩薩立像(中村区)
	史跡	大野寺石仏
	天然記念物	向淵スズラン群落
	選定保存技術(個人)	茅葺
	特別天然記念物	オオサンショウウオ
	特別天然記念物	ニホンカモシカ
	歴史資料	染田天神講連歌関係資料(染田自治会)

表 7.2.2-2(2)　室生ダム周辺の文化財

指定	種別	名称
県	建造物	山岡家住宅【主屋、座敷、内蔵】
	建造物	旧山岡家住宅【主屋、長屋門】
	建造物	大蔵寺石塔婆【石造塔(現在十重)】
	彫刻	木造地蔵菩薩立像(大蔵寺)
	彫刻	木造地蔵菩薩坐像(大蔵寺)
	建造物	万法寺本堂
	建造物	水分神社本殿
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像(覚恩寺)
	史跡	谷脇古墳
	無形民俗文化財	平尾のオンダ
	無形民俗文化財	野依のオンダ
	史跡	駒帰廃寺(伝安楽寺) 附瓦窯跡
	天然記念物	無渋榧(真証寺)
	彫刻	木造薬師如来坐像(西峠区)
	彫刻	木造菩薩坐像 (伝如意輪観音)(陽雲寺)
	彫刻	木造不動明王立像(青龍寺)
	彫刻	木造薬師如来及両脇侍像(戒長寺)
	彫刻	木造薬師如来坐像(戒長寺)
	工芸	鰐口(西方寺)
	史跡	奥ノ芝 1 号墳・2 号墳
	天然記念物	御井神社境内のツルマンリョウ群落
	天然記念物	初生寺境内のツルマンリョウ自生地
	天然記念物	戒場神社のホオノキの巨樹
	天然記念物	戒長寺のお葉つきイチョウ
	天然記念物	佛隆寺のサクラの巨樹
	天然記念物	高井の千本杉
	天然記念物	内牧の無渋榧
	建造物	海神社本殿
	建造物	龍穴神社本殿
	絵画	絹本著色真言八祖像(室生寺)
	彫刻	能面(正福寺)
	有形民俗文化財	染田天神講連歌堂
	建造物	光明寺山門
	建造物	山邊家住宅
	工芸品	水晶五輪塔納置黒漆宝篋印塔形舎利殿(室生寺)
	彫刻	木造大日如来坐像
	無形民俗文化財	室生の獅子神楽
	無形民俗文化財	龍口の獅子舞
市	建造物	旧細川家住宅【主屋、内蔵、外蔵、看板】
	絵画	阿騎野の朝【油彩画】
	歴史資料	阿騎野の万葉歌碑
	歴史資料	春日神社の水鉢　五輪塔地輪
	歴史資料	春日神社の水鉢
	歴史資料	道標(岩室区)
	考古資料	谷脇古墳出土遺物
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像(極楽寺)
	書籍・典籍	大般若経(陽雲寺)
	絵画	紙本著色仏涅槃図
	建造物	旧旅籠　あぶらや【主屋】
	無形民俗文化財	田口水分神社の獅子舞
	無形民俗文化財	大野のいさめ踊り
	史跡	飯降薬師の磨崖仏
	史跡	穴薬師石仏
	建造物	小原の笠塔婆
	史跡	下笠間の阿弥陀磨崖仏

【出典：宇陀市HP(2024年7月時点)】

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

室生ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を以下に整理した。

表 7.2.2-1　室生ダム事業と地域社会の変化

年代	室生ダム事業とインフラ整備事業	地域社会の変化 宇陀市 旧大宇陀町	旧菟田野町	旧榛原町	旧室生村
M26				榛原町発足	
S5				参宮急行電鉄 榛原駅開通	
S17		大宇陀町発足			
S20				榛原空襲	
S21				宇陀川の河川改修工事着工	
S24		都市計画道路「西町線」(国道166号)農協大正支所～西山間が開通			
S29				伊那佐村を編入合併、桜井市大字安田・笠間を編入	
S30				内牧村を編入合併	室生村発足
S31			菟田野町発足		室生管間出簡易水道完成
S34			伊勢湾台風の被害、死者2人、負傷者58人、全壊家屋9戸、流失家屋10戸、半壊家屋98戸、床上浸水437戸、床下浸水764戸、田畑被害306ha、道路被害6500m、橋梁流失53、山崩れ1750箇所、木材流失5000石。被害総額は5億5,843万5千円	伊勢湾台風で大きな被害	伊勢湾台風の被害、死者8名、重傷者3名、軽傷者多数、住宅全壊17戸、半壊52戸、流失31戸、非住宅全半壊46戸、家屋を除く被害額18億8,000万円
S36					第2室戸台風の被害、住宅全壊7戸、半壊26戸、その他農産物、非住宅等被害甚大
S39		都市計画道路「中央線」「北町線」竣工			
S40					合併10周年記念式典
					台風24号により村内各所で災害発生
S41	基本計画決定		国道166号古市場米谷橋～松井新橋間開通		
	室生ダム調査所設置				
S43				桧牧浄水場完成	西谷簡易水道完成
S44	立入調査協定書調印	健民グラウンド(都市計画大宇陀運動公園)完成	国道166号菟田野バイパス、水分大橋・新岩崎橋の開通	桜井市大字柳・角柄を編入	国道165号村内全面改修完成
	実施方針の指示			国道165号の改良完成	
	室生ダム建設所に改称				
	実施計画認可				
S45	一般補償基準提示	都市計画区域決定	過疎対策事業計画の樹立	都市計画区域決定	過疎振興地域振興計画の樹立
					山村振興計画の樹立
S46	一般補償基準妥結	本郷溜池導水路の大改修事業が完成			台風29号による集中豪雨により1億数千万円の被害
	本体工事着手				
	公共補償本調印				
	初瀬水路工事着手				
S47	本体コンクリート打設開始	合併30周年式典を挙行	台風20号来襲。(家屋全壊2戸、家屋損傷23戸、床下浸水10戸)		
	定礎式				
S48	初瀬水路完成				
	本体コンクリート打設完了				
S49	試験湛水開始				
	竣工式				
	管理開始				
	完成検査				
S50		簡易水道小附給水区の給水を開始			
S51			合併20周年式典		室生村簡易水道竣工
S57		台風10号並びに集中豪雨の被害(被害総額16億1,600万円)。災害復旧対策本部を設置し被害復旧(12月解散)	台風10号による被害甚大		台風と低気圧による暴風雨による被害、住宅全壊1戸、半壊2戸、一部破損26戸、家屋を除く被害額11億4,300万円
S59			基本構想議決「ふるさとのぬくもりを明日につなぐ町」		
S61	室生ダム発電所運転開始	簡易水道中央給水区給水開始			
S62		万葉公園(かぎろひの丘)開園		公共下水道供用開始	
		県営かんがい排水事業「宮奥ダム」起工式		総合センター・町立図書館完成	
H2		大宇陀町文化会館が竣工	台風19～20号来襲		室生村過疎地域活性化計画の樹立
H3		大宇陀町公共下水道通水			
H4					室生不思木の森公園オープン
H5				町制施行100周年記念事業	むろうリービング計画(村総合計画)策定
H6			台風26号が来襲、町内各地に被害		
H9		道の駅「宇陀路大宇陀」・阿騎野宿・人麻呂公園オープン	桜井宇陀広域連合発足	桜井宇陀広域連合発足	
			台風9号接近、大きな被害		
H10					道の駅「宇陀路室生」オープン
					台風7号により室生寺五重塔をはじめ村内各地に被害
H11		多世代交流プラザ「大宇陀温泉あきののゆ」オープン		全国難読町村サミット開催	室生村福祉保健交流センター「ぬく森の郷」オープン
H13				平成榛原子供のもり公園開園	
H15			オレンジ山児童公園整備完了		
	「室生ダム水源地域ビジョン」策定				
H16				国道369号榛原バイパス開通	
H17	室生ダム貯水池水質保全事業完了				「音楽の森」ふれあい館オープン
H18		3町1村が合併し宇陀市となる			
		国道369号榁坂バイパス開通			
		室生山上公園芸術の森開園			
H19		一般国道166号「女寄道路」開通			
		第1回宇陀市民スポーツ大会開催(以降毎年開催)			
H20		第1回宇陀シティマラソン開催(以降毎年開催)			
H22		平城遷都1300年祭の開幕イベント(室生寺で仁王門、五重塔のライトアップ)			
		心の森総合福祉公園開園			
H23	台風12号による氾濫回避のための防災操作(統合操作)				
H24	室生ダム水環境改善事業完了				
	台風17号による氾濫回避のための防災操作(統合操作)				
H25	台風18号による氾濫回避のための防災操作(統合操作)	市立病院グランドオープン			
		ワールドメイブルパーク(奈良カエデの郷ひらら)開園			
H26	台風11号による氾濫回避のための防災操作(統合操作)	宇陀市と畿央大学との包括連携協定			
		榛原小学校体育館竣工式			
H27		国交省の重点「道の駅」候補に、「宇陀路大宇陀阿騎野宿」が選定			
		宇陀市医療介護あんしんセンターが開設			
H28		災害時における避難場所としての施設利用に関する協定並びに災害時における福祉避難所設置運営に関する協定			
H29	台風21号による氾濫回避のための防災操作(統合操作)				
H30	台風12号による氾濫回避のための防災操作(統合操作)				
R1	台風19号による氾濫回避のための防災操作(統合操作)				
R2		「女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～」(「女人高野室生寺」)が日本遺産として認定			
R3					
R4		宇陀の魅力体験施設のオープン			
R5					

色の凡例

	市町村発足、合併
	災害
	イベント、住民活動、交流活動
	交流施設、地域振興拠点等の開設

(出典:室生ダム工事報告、宇陀市HP)

7.4 ダムと地域の関わり

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

(1) 水源地域ビジョンの策定

21 世紀のダム事業・ダム管理においては、従来からダムに求められていた治水利水だけでなく、水源地域の自立的、持続的な活性化を図り、水循環等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や伝統的な文化資産等を国民が広く利用できるよう、ハード及びソフト両面の総合的な整備を実施し、バランスのとれた流域の発展を図ることが期待されている。

このため、国土交通省では国管理ダム及び水資源機構管理ダムを対象に、地域ごとにダム水源地域の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとした。

室生ダムでは地元住民や関係機関等が共同で「室生ダム水源地域ビジョン」を検討し、平成 15 年 2 月に策定された。

「室生ダム水源地域ビジョン」は、室生ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画として、室生ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いている。

室生ダム水源地域ビジョンにおける、「室生ダム水源地域の特性」及び「地域の目指す方向性と室生ダムの位置づけ」は、表 7.4.1-1 及び表 7.4.1-2 に示す。

表 7.4.1-1　室生ダム水源地域の特性

対象地域	地域の特徴や資源ポテンシャル	活性化に向けた課題点
水源地域全体	・集客力のある歴史、文化資源 ・比較的高いアクセス利便性 ・豊かな自然環境	・室生ダム周辺施設と既存観光施設等との連携が不充分
室生ダム周辺地域	・貯水池湖畔に整備された様々なレクリエーション施設 ・利活用に適した水質保全ダム貯水池 ・治水・利水面で広範囲の地域に貢献 ・地域内幹線道路からの比較的高いアクセス利便性	・新たな施設整備には適さない ・貯水池での湖面利用が困難 ・貯水池周辺の施設連携が困難 ・利用者の適切な誘導が不充分 ・室生ダムに関する PR 不足

表 7.4.1-2　水源地域自治体の目指す方向性と室生ダムの位置づけ等

水源地域自治体の目指す方向性	室生ダムの位置づけ等
●室生村[注1]の目指す地域整備の方向 ・村づくりの目標: 『21 世紀に向けての希望と愛着のもてる明るく豊かな村づくり』 ・文化芸術活動による地域の活性化を目的にした「アートアルカディア計画」が策定、実施されている。 **●榛原町[注1]の目指す地域整備の方向** ・テーマ: 『「高原文化のまち」はいばら』 **●大宇陀町[注1]の目指す地域整備の方向** ・将来の都市像: 『歴史・自然を活用する個性ある交流の町』 『生活の利便性が高く潤いのある暮らしの町』 『ふれあい豊かな元気な町』 **●菟田野町[注1]の目指す地域整備の方向** ・まちづくりの目標: 『ぬくもりのあるもっと元気なまち菟田野』 **●その他** ・室生ダム水源地域を含む 1 市 3 町 3 村[注2]で構成される桜井宇陀広域連合では、地域活性化に向けた「桜井宇陀ふるさと市町村圏計画」を策定している。	**●室生村における室生ダムの位置づけ等** ・「交流ゾーン」として、既存のスポーツ施設に加え、福祉・文化・観光・環境関連の各施設の整備が計画されている。 **●榛原町における室生ダムの位置づけ等** ・「水辺のレクリエーションゾーン」として、平成榛原子供のもり公園の充実や、ダム湖を活かした親水空間づくりが示されている。

注 1　室生村、榛原町、菟田野町、大宇陀町は平成 18 年 1 月に合併して宇陀市となり、それぞれ宇陀市室生、榛原、菟田野、大宇陀となっている。

注 2　桜井宇陀広域連合は、室生村、榛原町、菟田野町、大宇陀町が宇陀市となったことにより、現在は 2 市 2 村(桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村)で運営されている。

【出典：室生ダム水源地域ビジョン】

7.4.2 室生ダム水源地域ビジョン

(1) 概要

室生ダムでは、平成14年度に「室生ダム水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の市町村と一体となった活性化への取り組み方針がまとめられた。

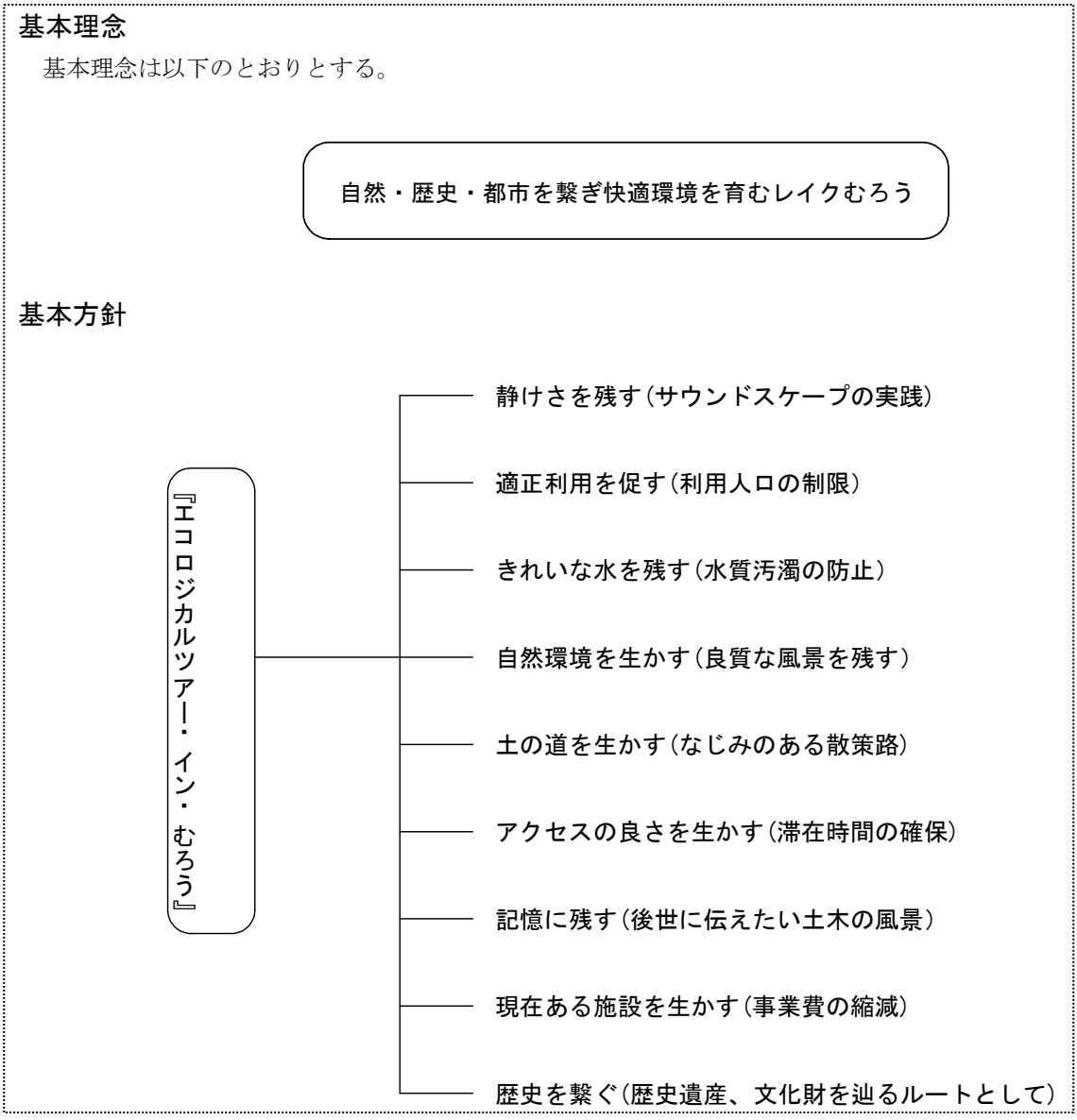


図 7.4.2-1　室生ダム水源地域ビジョンの基本理念と基本方針

動線計画

(1)拠点、出発点としての機能強化

対象地区・拠点:　「ダムサイト下流地区」
「大野地区」
「子供のもり地区」

(2)繋ぐ道　〈 湖畔(陸上)の道 〉

右岸:車、自転車、人、通過動線
自家用車等で上下流の地区(施設)を結ぶ。

左岸:自転車、人
車を気にせずにゆっくりと、のんびりと走り、歩く。

(3)繋ぐ道　〈 湖上(水上)の道 〉

カヌーを用いて湖上を周遊する。
陸上からとは違った新しい視点から湖水や対岸風景を眺める。
湖水より水辺の環境を見ることで、水質保全等への意識を高める。

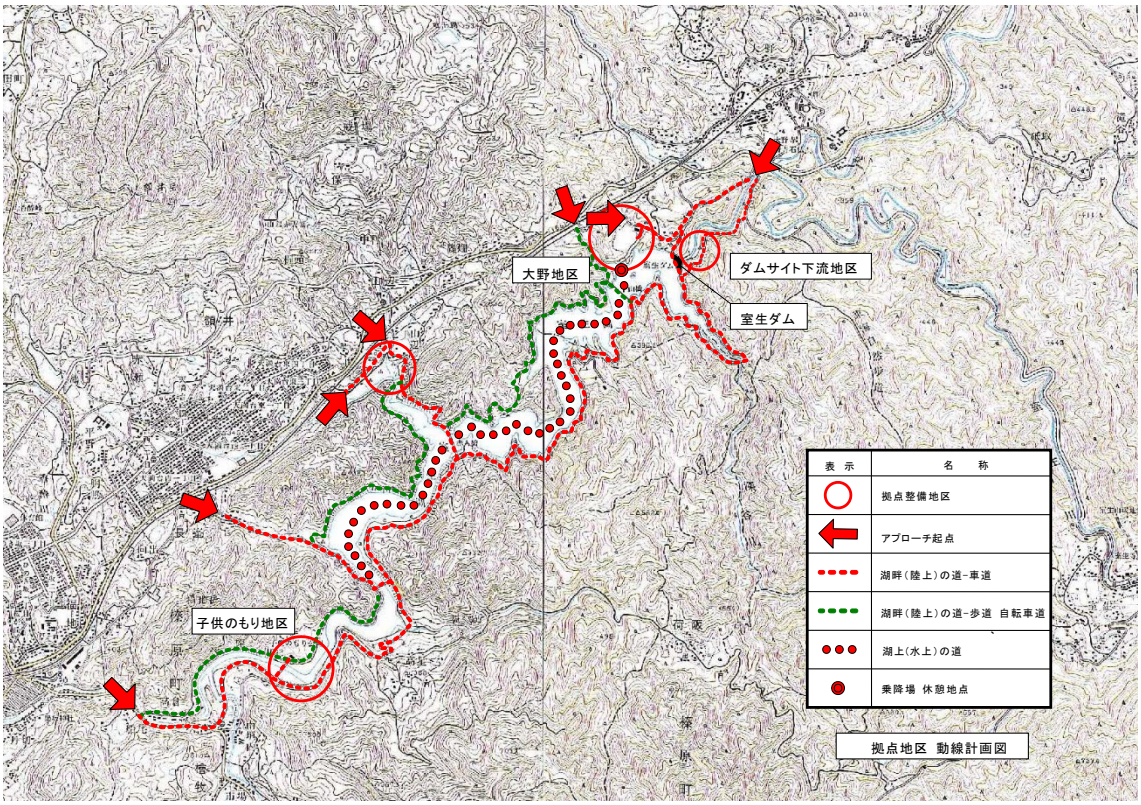
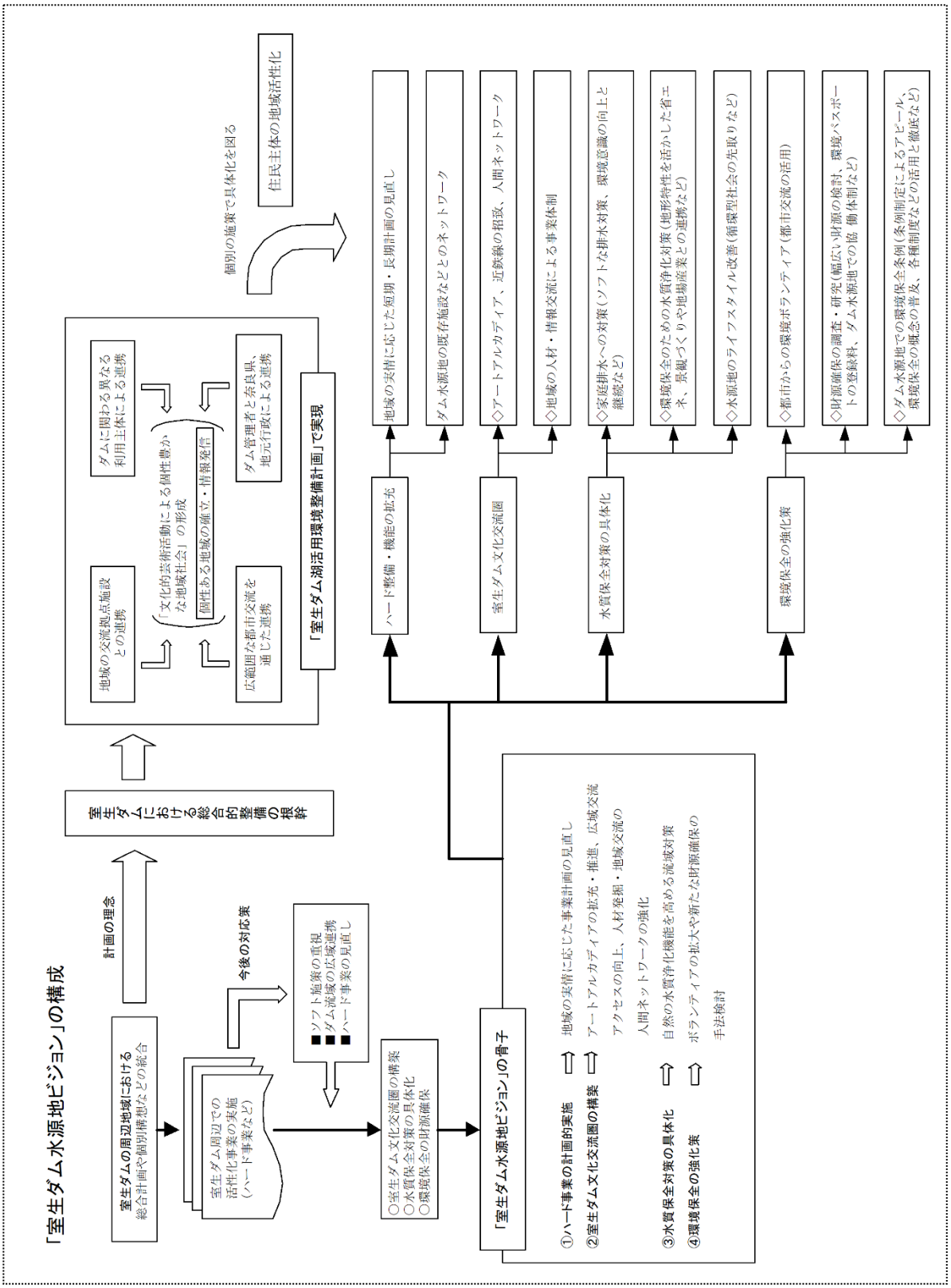


図 7.4.2-2　室生ダム水源地域ビジョンの拠点地区と動線計画


「室生ダム水源地ビジョン」の構成
計画の理念
室生ダムの周辺地域における
総合計画や個別構想などの統合
室生ダム周辺での
活性化事業の実施
（ハード事業など）
今後の対応策
■ソフト施策の重視
■ダム流域の広域連携
■ハード事業の見直し
○室生ダム文化交流圏の構築
○水質保全対策の具体化
○環境保全の財源確保
「室生ダム水源地ビジョン」の骨子
①ハード事業の計画的実施　⇨　地域の実情に応じた事業計画の見直し
②室生ダム文化交流圏の構築　⇨　アートアルカディアの拡充・推進、広域交流
アクセスの向上、人材育成圏・地域交流の
人間ネットワークの強化
③水質保全対策の具体化　⇨　自然の水質浄化機能を高める流域対策
④環境保全の強化策　⇨　ボランティアの拡大や新たな財源確保の
手法検討
室生ダムにおける総合的整備の根幹
地域の交流拠点施設
との連携
「文化的芸術活動による個性豊かな地域社会」の形成
個性ある地域の確立・情報発信
広範囲な都市交流を
通じた連携
ダムに関わる異なる
利用主体による連携
ダム管理者と奈良県、
地元行政による連携
「室生ダム湖活用環境整備計画」で実現
個別の施策で具体化を図る
住民主体の地域活性化
ハード整備・機能の拡充
室生ダム文化交流圏
水質保全対策の具体化
環境保全の強化策
地域の実情に応じた短期・長期計画の見直し
ダム水源地の既存施設などとのネットワーク
◇アートアルカディア、近鉄線の招致、人間ネットワーク
◇地域の人材・情報交流による事業体制
◇家庭排水への対策（ソフト&排水対策、環境意識の向上と
継続など）
◇環境保全のための水質浄化対策（地形特性を活かした省エネ、
景観づくりや地場産業との連携など）
◇水源地のライフスタイル改善（循環型社会の先取りなど）
◇都市からのボランティア（都市交流の活用）
◇財源確保の調査・研究（幅広い財源の検討、環境パスポートの登録料、ダム水源地での協働体制など）
◇ダム水源地での環境保全条例（条例制定によるアピール、
環境保全の概念の普及、各種制度などの活用と徹底など）

(2) 実行連絡会の実施状況

室生ダム水源地域ビジョン実現に向けて、実行連絡会を毎年開催している。実行連絡会では、各団体の前年度の取り組み等の報告、及び当該年度のイベント等の実施予定、その他意見交換等が行われている。

また、室生ダム水源地域ビジョン実行連絡会では、令和元年度に室生ダム貯水池周辺において清掃活動を行った。

表 7.4.2-1　実行連絡会の開催状況(至近5ヶ年)

年度	開催日	議事
令和元年度	9月18日	・平成30年度の実施報告、令和元年度の実施計画 ・意見交換
令和2年度	10月13日 （書面開催）	・令和元年度の実施状況、令和2年度の実施計画（各団体） ・令和元年度実施状況 ・取りくみ絵図 ・最近のトピックス
令和3年度	10月 1日 （書面開催）	・令和2年度の実施状況、令和3年度の実施計画（各団体） ・令和2年度実施状況 ・取りくみ絵図
令和4年度	10月19日	・令和3年度の実施状況及び令和4年度の実施計画 ・水源地域ビジョン実行連絡会の行事
令和5年度	11月13日	・令和4年度の実施状況及び令和5年度の実施計画 ・水源地域動態

(3) ダム管理者の地域に向けた活動等

室生ダム管理所では、地元小学校や地域住民、関係機関等に対してダム等の見学の受入れを積極的に行っており、ダムの機能や地域におけるダムの役割等について説明を行っている。

平成 26 年から令和 5 年の見学者の推移を図 7.4.2-3 に示す。至近 5 ヶ年では見学者数は 300～500 名前後で推移している。

なお、小学生向けの社会科副読本(奈良県のくらし)の「くらしをささえる水道」の項目において、ダムの役割について勉強している（図 7.4.2-4 参照)。

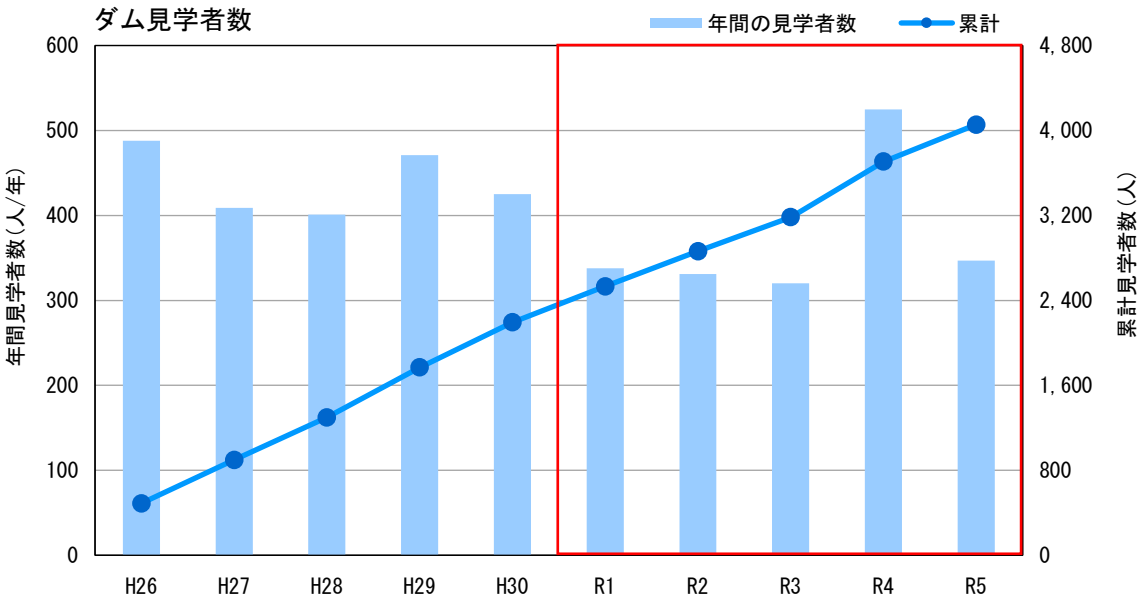


図 7.4.2-3　平成 26 年から令和 5 年のダム見学者数

図 7.4.2-4　小学校 社会科副読本『奈良県のくらし』での掲載内容

7.4.3 水質に関する情報共有

毎年、室生ダム富栄養化勉強会（平成 14 年発足）を開催し、利水者の奈良県水道局に対して室生ダム湖の水質状況や水質保全対策の運用状況について情報共有している。

毎年、青蓮寺ダム・比奈知ダム水質保全連絡会（対象は室生ダム・青蓮寺ダム・比奈知ダム、平成 27 年発足（室生ダムは平成 29 年から参加））を開催し、室生ダムの下流域自治体であり、青蓮寺ダム・比奈知ダムの利水者である名張市上下水道部に対して、3 ダム貯水池の水質等について情報共有している。

図 7.4.3-1　水質保全連絡会等の状況（左：富栄養会勉強会、右：水質保全連絡会）

7.4.4 ダム湖周辺施設の維持管理

(1) 5月大型連休前の施設点検(施設維持管理者等との連携)

毎年、利用者視点で施設維持管理者(宇陀市)と連携して、施設点検を行い、適宜維持修繕を行っている。

図 7.4.4-1　利用点検の状況（左：堤体、右：榛原ふれあい広場）

(2) 室生水源地域ビジョンによる清掃活動

令和元年 12 月 3 日に水源地域ビジョンの関係機関(奈良県水道局、桜井浄水場、宇陀市、宇陀川漁業協同組合)と連携してダム湖周辺の清掃を行った。

図 7.4.4-2　水源地域ビジョンによる清掃の状況

7.4.5 地域とダム管理者との関わりの評価

室生ダムでは地域ごとにダム水源地域の自治体等と協働し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定している。

ダムを管理する水資源機構では、関係機関や地域と連携を図りながら、水源地域ビジョンに基づき、実行連絡会やダム見学等を継続的に実施しており、地域の活性化に貢献している。

7.5 ダムの周辺状況

7.5.1 ダム周辺観光施設等の状況

室生ダム周辺の主な観光施設等の位置図を図 7.5.1-1 に、室生ダム周辺の主な観光施設等を表 7.5.1-1 に示す。

図 7.5.1-1　室生ダム周辺の主な観光施設等位置図

表 7.5.1-1　室生ダム周辺の主な観光施設等

●室生不思木の森公園 室生ダム湖畔にある室生村健民グラウンドでは、野球、サッカー、テニスなどを楽しめる。ナイター施設も整備されている。	
●室生農林トレーニングセンター 室生ダム湖畔にある室生農林トレーニングセンターでは、バレーボール、バスケットボールなどを楽しめる。	
●室生ダム展望台 室生ダム管理所の正面に位置し、室生湖を展望する事ができる。また、東海自然歩道の沿線でもあることから、多くのハイカーが休憩所として利用している。	
●平成榛原子供のもり公園 平成 13 年 4 月、室生ダムの貯水池湖畔にオープンした。この公園は、21 世紀を担っていく子供たちが健やかに成長していくための活動の場となり、また、野外活動やレクリエーションを通して大人と子供の世代間の交流が盛んに行える場となるよう、旧榛原町が整備したものである。	

7.5.2 ダム周辺のイベント等の開催状況

(1) イベント等の実施状況

室生ダム周辺においては、地域住民や NPO 等市民団体、奈良県山の日・川の日イベント、子供のもり公園でのイベントが開催されている。

室生ダム周辺のイベント等の開催状況を表 7.5.2-1 から表 7.5.2-5 に示す。

表 7.5.2-1　室生ダム周辺のイベント等の開催状況【奈良県山の日・川の日イベント】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
令和 2 年 10 月 26 日	山を守り水の大切さを知ろう	ダム施設、貯水池周辺	室生村森林組合 水資源機構	20 名	間伐体験とダム施設の見学会を実施

表 7.5.2-2　室生周辺のイベント等の開催状況【子供の森】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
令和元年 8 月 25 日	子どもの森　ダムカレー誕生祭	平成榛原子供のもり公園	子供のもり公園活性化協会	200 名	ダムカレーお披露目式典を始め、遊具や物品販売など大人子供が楽しめるイベント
令和 4 年 7 月 24 日	夏休み子どもワークショップ	室生副ダム 平成榛原子供のもり公園	子供のもり公園活性化協会	多数	水辺の自然観察に参加して、室生ダムの役割、および水質検査体験を通して「水の大切さ」を参加者に説明した
令和 5 年 7 月 30 日	夏休みこどもフェス	平成榛原子供のもり公園	子供のもり公園活性化協会	多数	パネルにより室生ダムの役割等を説明したほか、令和 6 年度で「室生ダム管理 50 周年」となることを PR した。 缶バッジ作り、プラバン作り、水質検査体験等を実施した。

図 7.5.2-1　夏休みこどもフェス(令和 5 年)

表 7.5.2-3　室生ダム周辺のイベント等の開催状況【「水の週間」ダム見学会】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
令和元年 7月5日	施設見学会	室生ダム	水資源機構	23名	ダム施設見学等
令和元年 8月6日	「水の週間」 親子見学会	室生ダム	水資源機構	52名	ダム施設見学等

図 7.5.2-2　「水の週間」ダム見学会の開催状況（令和元年）

表 7.5.2-4　室生ダム周辺のイベント等の開催状況【水源地域ビジョン実行連絡会等の清掃活動】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
令和元年 12月3日	清掃活動	貯水池周辺	室生ダム水源地域ビジョン実行連絡会	41名	室生ダム周辺の清掃活動
令和2年 11月29日	清掃活動	貯水池周辺	東榛原まちづくり協議会	32名	貯水池周辺の清掃活動

表 7.5.2-5　室生ダム周辺のイベント等の開催状況【その他イベント】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
令和3年 6月26、27日 7月10、11、24、25、30、31日 8月7、8、22、29日 12月5、11、12日	カヌー体験教室	室生副ダム上流	子供のもり公園活性化協会	180名	室生副ダムの上流を使用して、カヌーの体験教室を実施した
令和5年 10月29日	室生ダム湖周辺クリーンウォークと秋の収穫感謝祭	貯水池周辺	東榛原まちづくり協議会	230名	貯水池周辺の清掃活動への参加、地域のイベントにおいて展示したパネルにより室生ダムの役割等を説明したほか、令和6年度で「室生ダム管理50周年」となることをPRした

(2) ダムカードの配布

イベント参加者やダム来訪者にダムカードを配布し、ダムへの関心や興味をもってもらう取り組みも行っている。令和 2 年に配布数が大きく減少し、新型コロナウィルス蔓延による影響がみられたが、回復傾向にある。

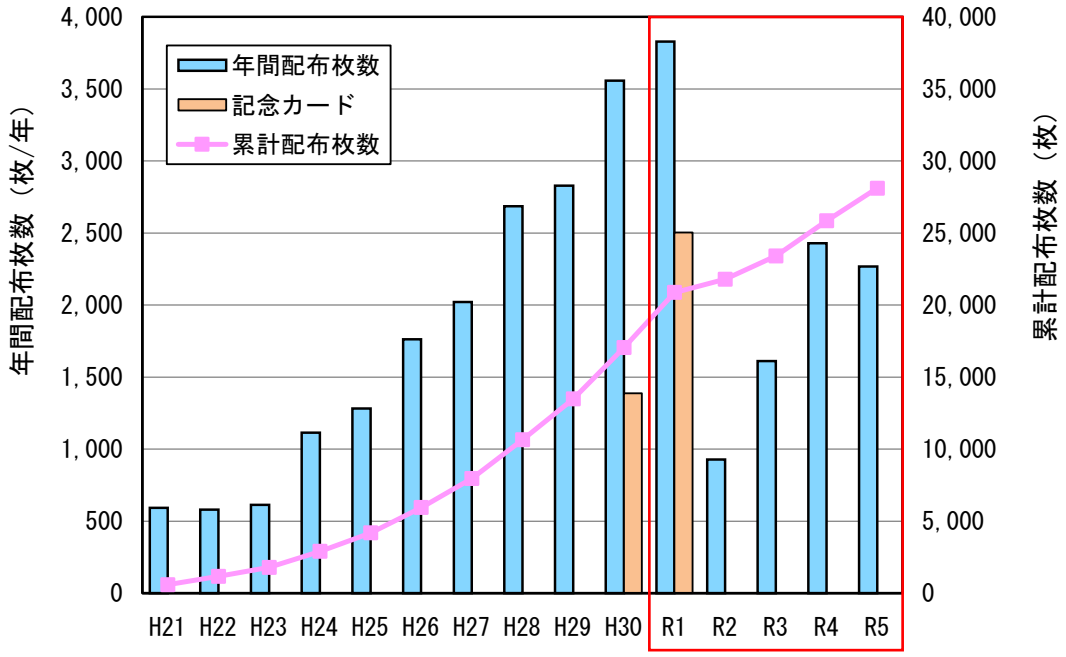


図 7.5.2-3　ダムカード配布状況(平成 21～令和 5 年度)

注 1) ダムカードの累計配布枚数は記念カードを除いた配布数の累計を示す
注 2) 記念カード：天皇陛下御在位三十年記念カード

図 7.5.2-4　ダムカード(左：通常版、右：天皇陛下御在位三十年記念カード)

(3) その他の取り組み

1) 6ダム共同の広報活動

高山ダム、布目ダム、室生ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム、川上ダムの木津川6ダム共同の広報活動として、木津川ダム群の“みどころ”を水資源機構のホームページで公開している。

また、水機構全体の取り組みである木津川6ダムカレー群などにより木津川ダム群やその周辺の魅力などの情報発信をしている。

図 7.5.2-5　木津川6ダム共同パンフレット（水資源機構ホームページ）

※青枠は室生ダム関連の取り組みを示す

図 7.5.2-6　木津川6ダムカレー群

※青枠は室生ダム関連の取り組みを示す

2) インバウンドへの取り組み

近年増加しているインバウンドへの取り組みとして、水資源機構ホームページ(英語版)や X（旧 Twitter）で、室生ダム周辺を含む木津川流域の観光スポットを紹介している。

図 7.5.2-7　インバウンドへの取り組み
（左：水資源機構ホームページ、右：X（旧 twitter のトップページ））

3) ダムカレー誕生祭り

子供のもり公園活性化協会主催の「ダムカレー誕生祭り」が令和元年８月 25 日に開催され、ダムカレーお披露目式典の他、ミニ四駆レース、粘土教室、ウチワ作り体験、ストーンペインティング、室生管理所は、プラバンキーホルダー作り、輪ゴム編み体験等のイベントが実施された。

図 7.5.2-8　ダム誕生祭の実施状況

7.5.3 ダム周辺利用の評価

室生ダムでは、ダム周辺施設やダム湖を活かしたイベントやダム施設の見学会等が数多く行われている。また、周辺各地区における地域活性化の取り組みや、地域団体による環境美化、環境教育等も盛んに行われている。

ダム管理者である水資源機構は、地域活性化や啓発等に資するため、ダムや周辺施設を利用したイベントや活動等の開催支援を積極的、継続的に実施していく役割を担っている。また、地域活動の支援や連携を行い、地域とのパートナーシップ構築を図っていくことも重要である。

7.6 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査編)の結果

7.6.1 ダム湖利用実態の調査

河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)の調査結果の経年変化は図 7.6.1-1 に示すとおりである(直近は令和元年度に実施)。

調査開始の平成 3 年度から平成 12 年度までは、6 万 5 千人前後から 8 万 5 千人前後とゆるやかな増加傾向であった。その後、平成 13 年に「平成榛原子供のもり公園」が完成し、平成 15 年度は年間利用者数が約 14 万人となり、10 万人を超え、平成 18 年度には約 26 万人(調査開始以降最多)となった。

令和元年度調査結果では、年間利用者数は約 11 万人であり、前回調査時より利用者数は減少したものの、依然 10 万人を超える利用者がある。また、令和元年度調査において、最も多い利用形態は「野外活動」であった。

なお、魚釣りの利用者数の推移としては、平成 9 年度の約 5 万人をピークに平成 15 年度まで減少し、平成 18 年以降、再び増加している。この要因としては、釣り人口そのものの増減等が考えられる。

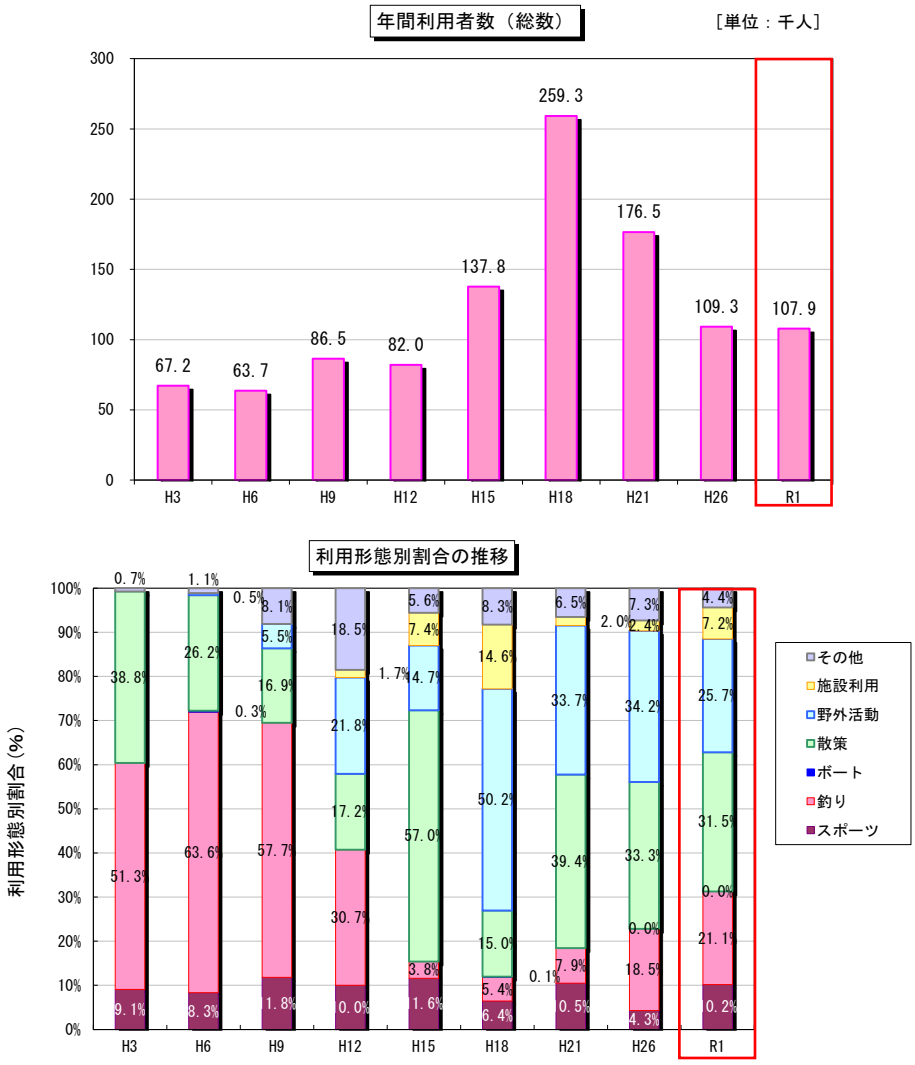
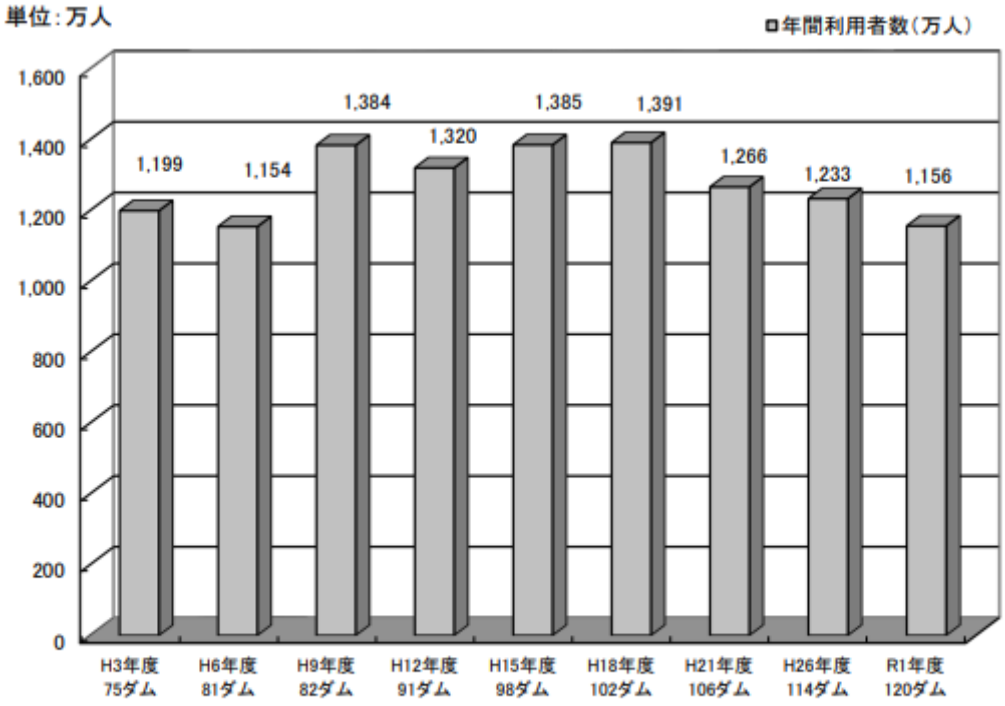


図 7.6.1-1　室生ダム湖周辺の利用者の状況

【参考：ダム湖年間利用者数(全国)】



(注1) 平成21年度は、平成22年度に調査を実施した沖縄地方7ダムの結果を含む。
(注2) 渡良瀬遊水地、荒川調節池の結果は含まない。
(注3) 令和元年度より年間利用者数の推計時に天候係数が導入された。

【出典：令和元年度河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕(ダム湖利用実態調査編)令和3年2月】

7.6.2 室生ダム利用者の特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査結果から、室生ダム利用者の特性を整理した。アンケートの回答者数は、以下のとおりである。

平成 26 年度：141 人　令和元年度：163 人

(1) 利用者の属性

利用者層は、平成 26 年度と令和元年度ともに 30 歳代と 50 歳代から 60 歳代が多いが、令和元年度は 30 代から 40 代、60 代の利用が多かった。(図 7.6.2-1 参照)

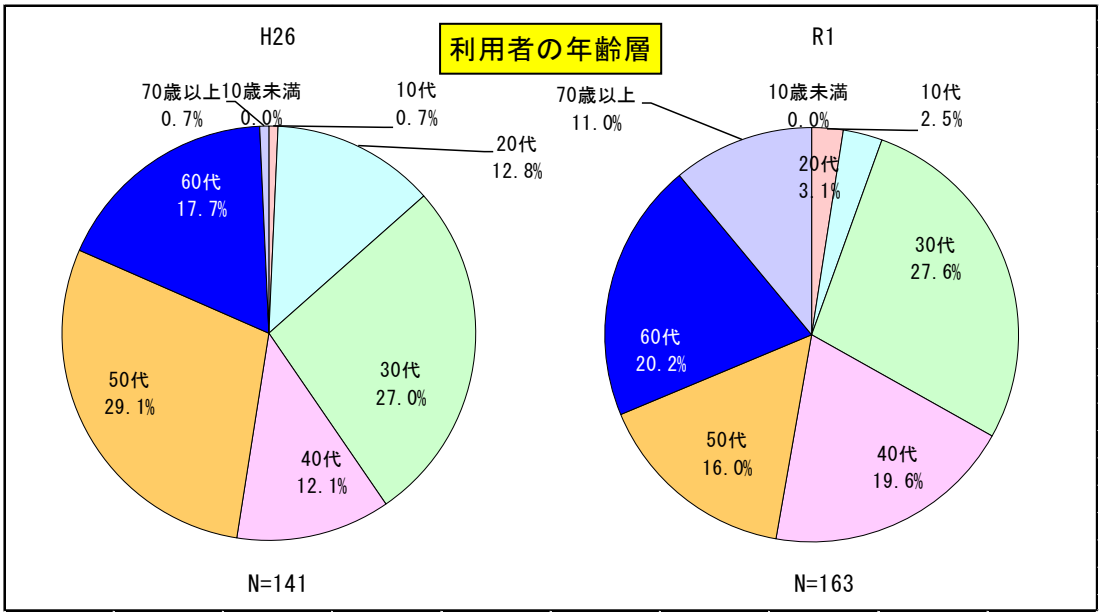


図 7.6.2-1　利用者の年齢層

(2) 利用者の居住地等

来訪者の居住地は、奈良県が最も多く、平成 26 年度は約 63%、令和元年度は約 47%を占めている。次いで大阪府、三重県が多く、近畿圏からの来訪者が約 81%以上を占めている。(図 7.6.2-2 参照)

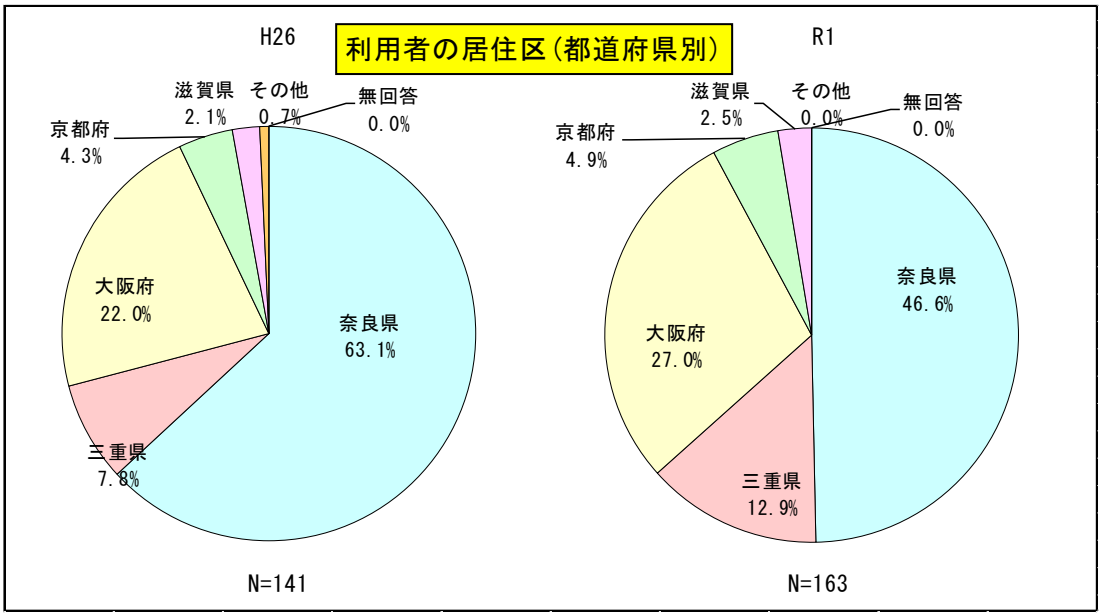


図 7.6.2-2　利用者の居住区(都道府県別)

(3) 来訪経験

令和元年度に室生ダムを訪れた利用者のうち、約67%をリピーターが占めている（図 7.6.2-3 参照）

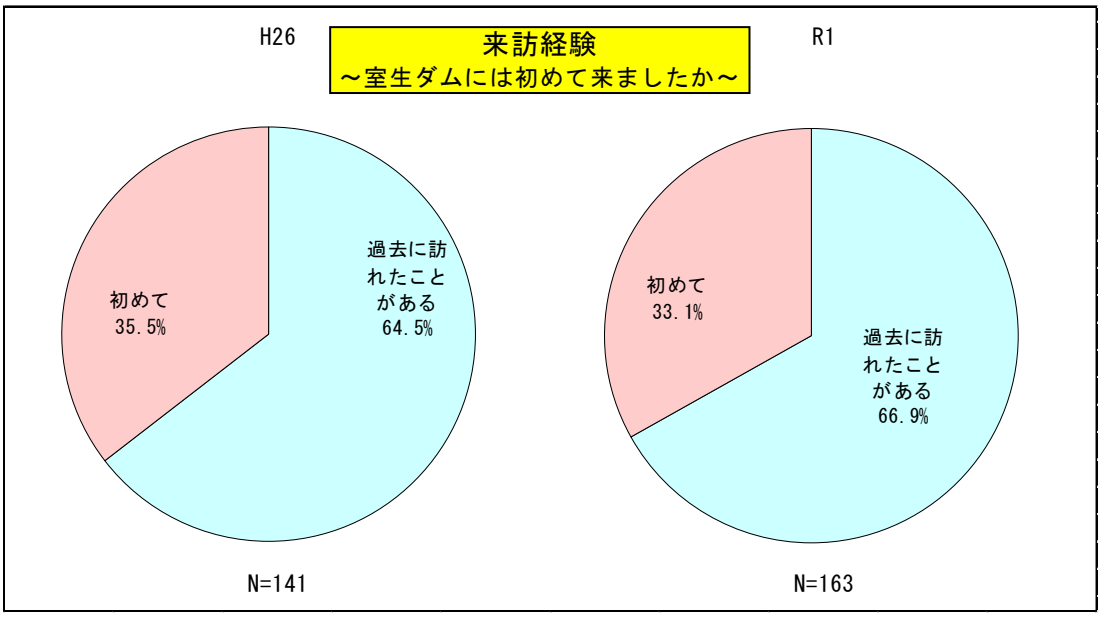
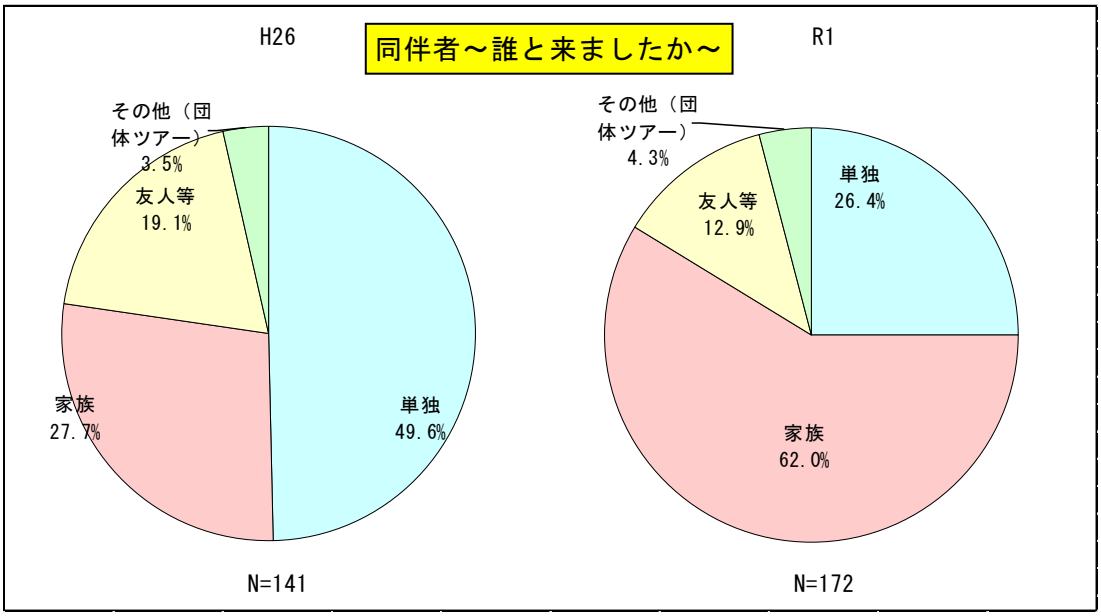


図 7.6.2-3　利用者の来訪経験

(4) 同伴者

令和元年度は、平成 26 年度と比較して家族での来訪が多く見られた（図 7.6.2-4 参照）。



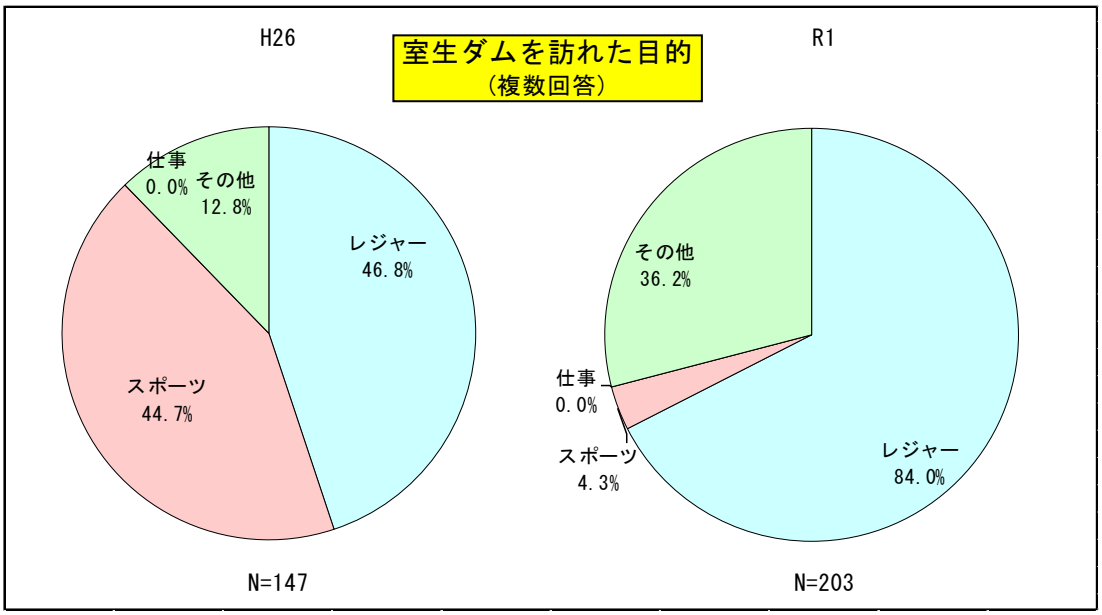
※複数回答が可能

図 7.6.2-4　利用者の同伴者

(5) 来訪目的

室生ダムを訪れた目的は「レジャー」が最も多く、次いで「スポーツ」となっている。

その他としては、「ウォーキング」や「ダムカード収集」といった回答が多かった(図 7.6.2-5 参照)。



※複数回答が可能

図 7.6.2-5　利用者の来訪目的

(6) 利用者の感想

室生ダムを利用した人の感想は「満足している」、「まあ満足している」が全体の約 9 割を占めている(図 7.6.2-6 参照)。また、不満と感じる人は 0 人であったが、「やや不満である」と回答した感想として「釣り人のマナーが良くない。禁止地区で釣る。」等の感想を頂いた。

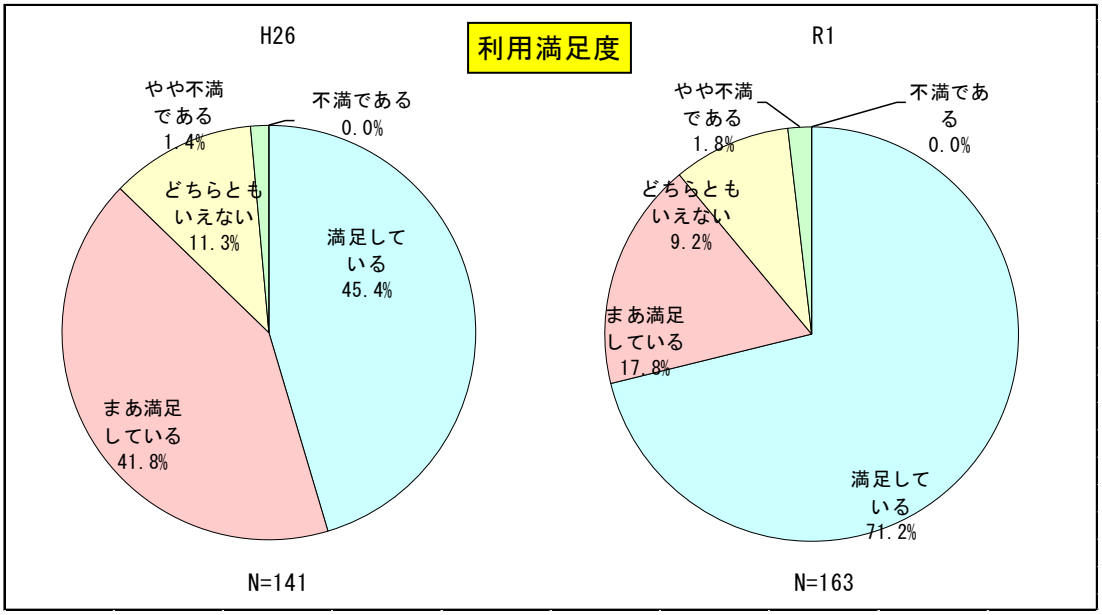


図 7.6.2-6　利用者の感想

7.6.3 ダム湖利用の評価

室生ダム及びダム貯水池周辺には、観光名所の室生寺や大野寺等の史跡があり、また室生赤目青山国定公園、東海自然歩道に指定されているなど風光明媚な地域であり、散策、ハイキング、サイクリング等、多数の観光客が訪れている。

奈良や大阪からの道路・鉄道の便がよく、幅広い年代でレクリエーションを中心とした利用が行われている。来訪者の約 67%がリピーターであることも、室生ダムの特徴であると考えられる。

利用者の満足度は高いものの、ゴミが多いこと等、不満を感じている利用者もある。

ダム管理者である水資源機構は、ダム湖周辺利用をさらに促進するため、利用施設の管理を適切に実施するとともに、パトロール等による利用者の安全確保、ゴミの不法投棄等の行為の抑制等に努める必要がある。

7.7 まとめ

室生ダムは、昭和 49 年に管理を開始し、令和 5 年度で管理開始 49 年を迎え、施設見学やイベント等を通じて、ダムの認知度や施設利用頻度も高まっていると考えられ、前項までの内容や国勢調査結果を踏まえ、以下のように評価する。

〈〈まとめ〉〉

- 室生ダム周辺には、観光名所の室生寺や大野寺等の史跡があり、また室生赤目青山国定公園、東海自然歩道に指定されているなど風光明媚な地域であり、散策、ハイキング、サイクリング等、多数の観光客が訪れている。
- 室生ダム管理所では、地元小学校や地域住民及び関係機関等に対して見学の受け入れを積極的に行っており、小学生や一般者のダム及び環境の学習の場としても確実に定着している。
- 室生ダム単独のみならず、木津川6ダム共同で広報活動を行い、木津川ダム群やその周辺の魅力などの情報発信をしている。
- ダムカード配布数は、新型コロナウィルス蔓延による影響で大きく減少したが、回復傾向にある。

〈〈今後の方針〉〉

- 環境整備事業にて整備された公園、広場等の資源を有効に活用し、今後も地域と連携した活動を積極的に実施していく。
- 広報活動や関係機関等と積極的に連携し、環境保全及びダムの役割などの理解促進に向けた取り組みを積極的に実施していく。

7.8 必要資料(参考資料)の収集・整理

室生ダムの水源地域動態に係わる評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.8-1 「7.水源地域動態」に使用した文献・資料リスト

No	文献・資料名	発行者	発行年月	備考
7-1	奈良県統計年鑑	奈良県		
7-2	国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ(令和3年度 土地利用100mメッシュデータ)	国土交通省国土政策局	令和3年度	
7-3	宇陀市観光協会ホームページ http://www.city.uda.nara.jp/sin-kankou/	宇陀市		
7-4	宇陀市菟田野区ガイド http://www2.mahoroba.ne.jp/~sanshin/guide/guide.htm	(財)宇陀市菟田野毛皮革産業振興公社		
7-5	宇陀市ホームページ http://www.city.uda.nara.jp/index.html	宇陀市		
7-6	近畿道の駅ホームページ http://www.kkr.mlit.go.jp/road/michi_no_eki/index.html	近畿地方整備局		

表 7.8-2 「7.水源地域動態」に使用したデータ

No	データ名	データ提供者 または出典	発行年月	備考
7-7	河川水辺の国勢調査 （ダム湖利用実態調査）	木津川ダム総合管理所	平成18年度 平成21年度 平成26年度 令和元年度	
7-8	ダム見学者数	木津川ダム総合管理所	平成26年 ～令和5年	
7-9	ダムカード配布数	木津川ダム総合管理所	平成26年 ～令和5年	